

IR High-definition Network Speed Dome

User Manual

UD. 6L0201D1168A02

本取扱説明書について

このたび GRASPHERE IR ネットワークスピードドームをご導入いただきまして、誠にありがとうございます。ご質問やリクエストがある場合は、ご購入の販売店、ディーラーにご連絡をください。

ご使用前に、本マニュアルと、設置マニュアルをよくお読みください。

DISCLAIMER STATEMENT

“Underwriters Laboratories Inc. (“UL”) has not tested the performance or reliability of the security or signaling aspects of this product. UL has only tested for fire, shock or casualty hazards as outlined in UL’ s Standard(s) for Safety, UL60950-1. UL Certification does not cover the performance or reliability of the security or signaling aspects of this product. UL MAKES NO REPRESENTATIONS, WARRANTIES OR CERTIFICATIONS WHATSOEVER REGARDING THE PERFORMANCE OR RELIABILITY OF ANY SECURITY OR SIGNALING RELATED FUNCTIONS OF THIS PRODUCT.”

0501001030822

規制情報

FCC 情報

FCC 準拠：この装置はテスト済みであり、FCC ルール Part15 に規定され、デジタル装置の制限に適合することが判明しました。これらの制限は、商業環境で装置を運用する際に、有害な干渉に対して妥当な保護を提供するように設計されています。この装置は電波を発生、使用し、また放射無線周波数エネルギーとは、取扱説明書に従って設置および使用しなかった場合、無線通信に有害な干渉を引き起こすことがあります。この装置を住宅地域では、ユーザー側の負担で干渉に対処する必要があります、その場合に有害な干渉を引き起こす可能性があります。

FCC 条件

この装置は、FCC 規則パート 15 に準拠しています。操作は次の 2 つの条件に従います。

1. このデバイスによって、有害な干渉が発生することはありません。
2. このデバイスは、予想外の動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受信したすべての干渉を受け入れなければなりません。

EU の適合宣誓書



本製品および該当する場合-付属品は、“CE”のマークが付いており、低電圧指令 2006/95/EC、EMC 指令 2004/108/EC の下に記載されている該当欧州統一規格に準拠しています。



2002/96/EC (WEEE 指令)：この記号が付いている製品は、欧州連合 (EU) などの地方自治体の廃棄物処理処分することはできません。適切な製品のリサイクルについては、同等の新しい機器の購入時にお近くのサプライヤにこの製品を返すか、指定された収集のポイントでそれを処分してください。詳細については以下を参照してください。
www.recyclethis.info



2006/66/EC (電池指令)：この製品は欧州連合 (EU) などの地方自治体の廃棄物処理処分することができないバッテリーが含まれています。特定のバッテリー情報については、製

品マニュアルを参照してください。電池はカドミウム (Cd)、鉛 (Pb)、水銀 (Hg として) を示すためにレタリングを含むことができるこのマークが付いています。適切な製品のリサイクルについては、仕入先、または指定された収集場所にバッテリーを返す。詳細については以下を参照してください。

www.recyclethis.info

Safety Instruction



Warnings:

GRASPHERE スピードドームは非常に高度な監視装置です。設置の前に次の項目を確認ください。

- よく換気され埃のない環境にデバイスを設置してください。
- 環境条件が仕様範囲に合致していることを確認してください。
- メーカーより推奨されたSDカードを装着してください。
- 壁、天井に装備の場合はブラケットを使用して、キャビネットと固定してください。
- 接続するオーディオおよび映像ケーブルの広いスペースがあることを確認してください。
- ケーブルを接続する場合、ケーブルの曲げ状況にストレスがないかなど十分に確認する。
- アラーム/通信機能使用の時はアラームおよびRS-485ケーブルの両方を接続してください。
- 装置を複数台設置の場合、その間隔は少なくとも周囲2cm以上のスペースを空けてください。
- 雷、サージ対策のため、デバイスがアースされることを確認してください。
- 環境湿度は、10%~90%の範囲内にある事。

**Cautions:**

- お使いのデバイスを接続して操作する前に、下記の項目にご注意ください:
- 機器は換気の良い、埃のない環境に設置してください。
- 本機は屋内専用に設計されています。屋外への設置はおやめください。
- 機器に液体をこぼさないでください。
- 環境条件が機器の仕様を満たしていることを確認してください。
- 機器が正しくラックや棚に固定されているか確認してください。それを守らない結果として機器に衝撃や振動が発生し、機器内の電子機器に損傷を引き起こす可能性があります。
- 電源環境の悪い場所では、UPS（無停電電源装置）を接続して機器を使用してください。
- アクセサリーや周辺機器を接続する時、シャットダウンする前に機器の電源をお切りください。
- 工場出荷時の推奨HDDは、このデバイスとの相性を確認したのになりますので交換の際、相性の悪いHDDを装着した場合、故障やエラーの原因となりますのでご注意ください。
- 不適切な使用や部品の交換は、爆発の危険性がありますのでおやめください。

目次

CHAPTER 1	概要	9
1.1	必要なシステム環境.....	9
1.2	外観.....	9
1.3	機能.....	9
CHAPTER 2	ネットワーク接続	11
2.1	LAN を経由してスピードドームの設定.....	11
2.1.1	LAN の場合.....	11
2.1.2	IP アドレスの探索と変更.....	12
2.2	WAN の場合.....	12
2.2.1	スタティック IP で接続.....	12
2.2.2	ダイナミック IP 接続.....	13
CHAPTER 3	ネットワークスピードドームにアクセス	16
3.1	ウェブブラウザからアクセス.....	16
3.2	クライアントソフトからアクセス.....	18
CHAPTER 4	ライブビュー	20
4.1	起動.....	20
4.2	ライブビューページ.....	20
4.3	ライブビュー開始.....	21
4.4	手動録画とスナップショット.....	23
4.5	PTZ 操作.....	23
4.5.1	PTZ コントロールパネル.....	23
4.5.2	プリセットの呼び出しと設定.....	24
4.5.3	パトロールのセットと呼び出し.....	25
4.5.4	パターンのセットと呼び出し.....	27
4.6	ライブビューパラメータ.....	28
CHAPTER 5	PTZ 設定	29
5.1	ホーム位置設定.....	29
5.2	基本 PTZ パラメータ設定.....	29
5.3	PTZ リミットストップの設定.....	31
5.4	スケジュールタスクの設定.....	32
5.5	パークアクション.....	34
5.6	プライバシーマスクの設定.....	34
5.7	スマートトラッキングの設定.....	36
5.8	PTZ 設定削除.....	37
CHAPTER 6	スピードドームの設定	38

6.1	ローカルパラメータの設定	38
6.2	タイムの設定	39
6.3	ネットワーク設定	41
6.3.1	TCP/IP の設定	41
6.3.2	ポートの設定	42
6.3.3	PPPoE の設定	43
6.3.4	DDNS の設定	44
6.3.5	SNMP の設定	45
6.3.6	802.1X の設定	46
6.3.7	QoS の設定	48
6.3.8	FTP 設定	48
6.3.9	UPnP™ の設定	49
6.3.10	NAT の設定	50
6.3.11	Email の設定	50
6.4	ビデオとオーディオの設定	52
6.4.1	ビデオの設定	52
6.4.2	オーディオの設定	53
6.4.3	ROI の設定	53
6.5	イメージの設定	55
6.5.1	画質設定	55
6.5.2	OSD の設定	60
6.5.3	テキストオーバープレーの設定	61
6.6	アラームの設定	62
6.6.1	動体検知の設定	62
6.6.2	ビデオロスアラームの設定	65
6.6.3	ビデオタンパリングアラームの設定	66
6.6.4	外部アラームインプットの設定	67
6.6.5	アラームアウトプットの設定	69
6.6.6	例外処理	70
CHAPTER 7	録画設定	72
7.1	NAS の設定	72
7.2	録画スケジュールの設定	73
7.3	スナップショットの設定	75
CHAPTER 8	再生	78
CHAPTER 9	ログの検索	82
CHAPTER 10	他	83
10.1	ユーザ管理	83
10.2	RTSP 認証の設定	86
10.3	匿名アクセスの設定	86
10.4	IP アドレスフィルターの設定	87
10.5	デバイス情報表示	87
10.6	メンテナンス	88

10.6.1	再起動.....	88
10.6.2	初期化.....	88
10.6.3	設定ファイルのインポートとエクスポート.....	89
10.6.4	システムのアップデート.....	89
10.7	RS-485 の設定.....	91
APPENDIX	92
APPENDIX 1	SADP.....	92
APPENDIX 2	ポート解放.....	94

Chapter 1 概要

1.1 必要なシステム環境

OS: Microsoft Windows XP SP3 / Vista / Win7 / Server 2003 / Server 2008 32bits

CPU: Intel Pentium 4 3.0 GHz 以上

RAM: 1G 以上

Display: 1024×768 解像度以上

Web Browser: Internet Explorer 7.0 以上, Apple Safari 5.02 以上 Mozilla Firefox 3.5 以上、Google Chrome8 以上

1.2 外観



Figure 1-1 外観

1.3 機能

注意: 品番によって、詳細な機能は若干違う場合がございます。

- リミットストップ

The dome can be programmed to move within the limit stops (left/right, up/down).

- スキャンモード

The dome provides 5 scan modes: auto scan, tilt scan, frame scan, random scan and panorama scan.

- プリセットフリーズング

This feature freezes the scene on the monitor when the dome is moving to a preset. This allows for smooth transition from one preset scene to another. It also guarantees that masked area will not be revealed when the dome is moving to a preset.

- **プリセット**

ツール設定をある一定の状態に調整してから使うことが多くなったらプリセットの出番です。設定したことを保存しておき必要なときに呼び戻せるしくみです。

- **ラベル表示**

PTZ カメラの各情報（角度、ズーム率、タイムとカメラ名）をスクリーンで表示されます。

- **自動フリップ**

通常の垂直回転動作ではカメラが真下を向いたところで停止しますが、自動フリップ機能を使用すると垂直方向 0°～180°をワンモーションで回転することができます。

- **プライバシーマスク**

画像の表示や映像の録画の際に、特定の箇所をブロックまたはマスキングしてプライバシーを守る機能のこと。

- **オートフォーカス**

カメラのピント合わせを自動化する機能のこと。

- **デイ/ナイト自動切替**

設置場所が明るい時にはカラー映像、夜間など暗い時には白黒映像に自動で切り替わるデイナイト機能。

- **スローシャッター**

低速シャッターと同じ意味です。おもに滝や川、海など水の流れを明らかに表現するとき多用されます。

- **逆光補正 (BLC)**

逆光下で撮影する際、露出補正を行い、そのままでは暗く写ってしまう被写体を適切な露出で撮影すること。また、自動でその補正を行う機能。

- **ワイドダイナミックレンジ (WDR)**

電子シャッターでシャッター速度を変えて、高速シャッターと低速シャッターで撮像した2つの画像を合成して取り出すことで、暗いところは明るく、明るいところは暗くし、暗いところも明るいところも両方見えるようにする機能です。

- **ホワイトバランス (WB)**

カメラにおいて、さまざまな色温度の光源のもとで、白色を正確に白く映し出すように補正する機能である

- **パトロール**

パトロール機能とは、スケジュールした通りにパン・チルト（首振り）を行う機能です。

- **パターン**

パターンは、パン、チルト、ズーム、プリセットを記憶されたシーケンスです。

- **3D デジタルノイズリダクション**

3DNR とは：映像信号に混在するノイズをデジタル処理によって除去するデジタルノイズリダクション（DNR）の手法の一つ。映像の中で連続する2つのフレーム画像の内容を比較して平均化を行い、抽出された差分信号をノイズとして認識し除去する。

Chapter 2 ネットワーク接続

始める前:

- LAN を経由する場合、2.1 を参照してください。
- WAN を経由する場合、2.2 を参照してください。

2.1 LAN を経由してスピードドームの設定

目的:

LAN を経由して、スピードドームを設定するには、スピードドームと同一のネットワークに接続する必要があります。SADP、または、クライアントソフトを使用して、スピードドームの IP アドレスを探索して変更します。

注意: SADP に関する詳細説明は、付録 1 を参照してください。

2.1.1 LAN の場合

下記のように、二つの方法でネットワークカメラに接続することができる。

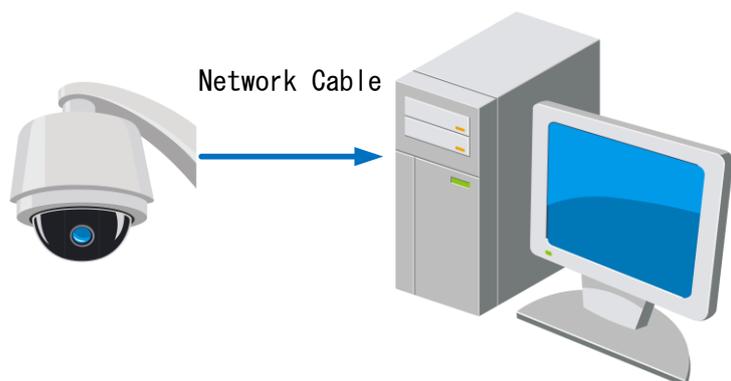


Figure 2-1 Connecting Directly

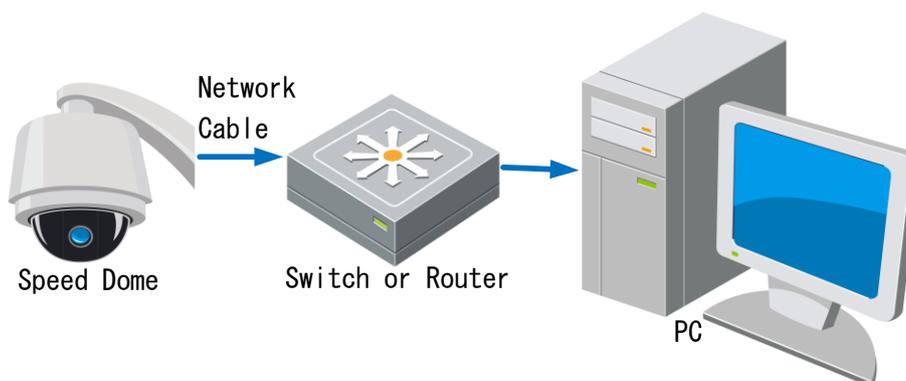


Figure 2-2 Connecting via a Switch or a Router

2.1.2 IP アドレスの探索と変更

手順:

SADP ツール、または、クライアントソフトを使用します。

- ◆ SADP ツールで同じネットワーク上の IP サブネットマスク、ポート番号、シリアル番号、ファームウェアバージョンなどの情報が表示される。
 - ◆ クライアントソフトを使う場合、詳細はクライアントソフトのマニュアルを参照してください。
- PC と同一のサブネットマスクと同ネットワーク IP アドレスに設定します。
 - 設定した IP アドレスをウェブブラウザに入力してライブビデオを確認します。

注意:

- 初期 IP アドレスは 192.0.0.64、初期パスワードは 12345 となっています。
- 違うサブネット場合なら、ゲットウェイの設定も必要です。詳細は 6.3.1 を参照してください。

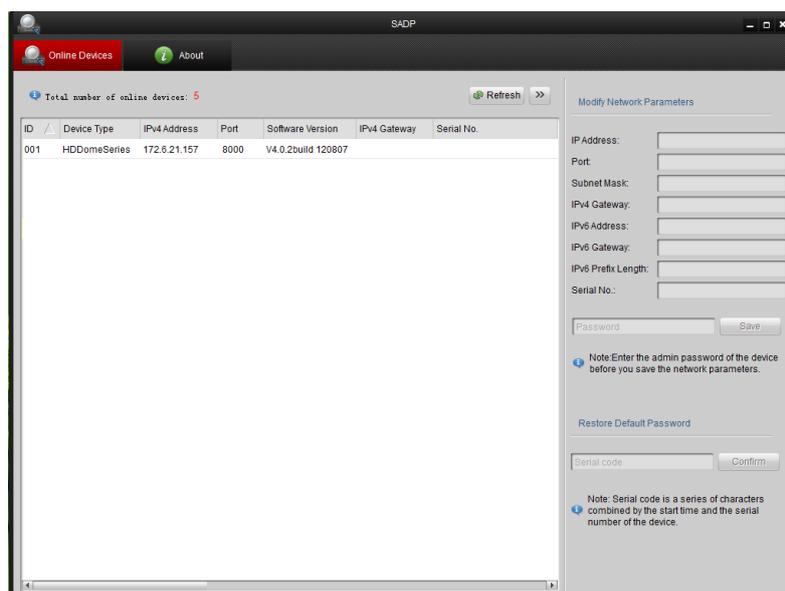


Figure 2-3 SADP Interface

2.2 WAN の場合

2.2.1 スタティック IP で接続

始める前:

もし ISP からスタティック IP がもらえば IE からインターネット経由でカメラにアクセスすることができます。

- ルータを経由する

手順:

1. スピードドームをルータに接続します。
2. スピードドームの IP アドレスを設定します。
3. ルータでスタティック IP アドレスを設定します。
4. ルータで 80 ポート、8000 ポートと 554 ポートを解放します。

注意: ポートの解放設定は付録 2 を参照してください。

5. ウェブブラウザ、または、クライアントソフトでスピードドームにアクセスします。

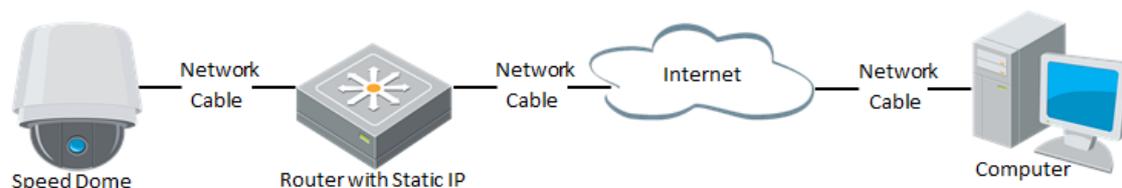


Figure 2-4 Accessing the Speed Dome through Router with Static IP

- ルータ経由なしインターネットと接続する

ルータのポート開きなして直接インターネットと接続します。

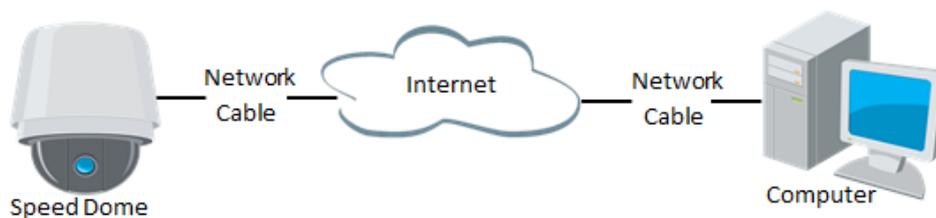


Figure 2-5 Accessing the Speed Dome with Static IP Directly

2.2.2 ダイナミック IP 接続

始める前:

もし ISP からパブリック IP がもらえば IE からインターネット経由でカメラにアクセスすることができます。

- ルータを経由する

手順:

1. スピードドームをルータに接続します。
2. スピードドームの IP アドレスを設定します。
3. ルータで PPPoE を設定します。
4. ルータで 80 ポート、8000 ポートと 554 ポートを解放します。

注意: ポートの解放設定は付録 2 を参照してください。

5. ウェブブラウザ、または、クライアントソフトでスピードドームにアクセスします。
6. ドメイン名をドメインプロバイダから申し込みします。

7. DDNS を設定します。
8. ドメイン名を経由してスピードドームにアクセスします。

● モデムを経由する

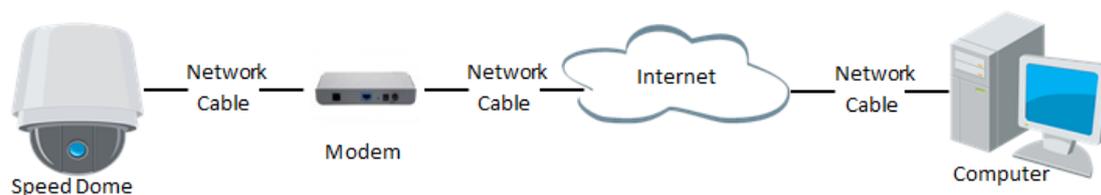


Figure 2-6 Accessing the Speed Dome with Dynamic IP

注意: PPPoE による IP アドレスを取得したため、スピードドームを再起動した後、IP が変わりますため、DDNS の設定が必要です。

◆ ノーマル DDNS

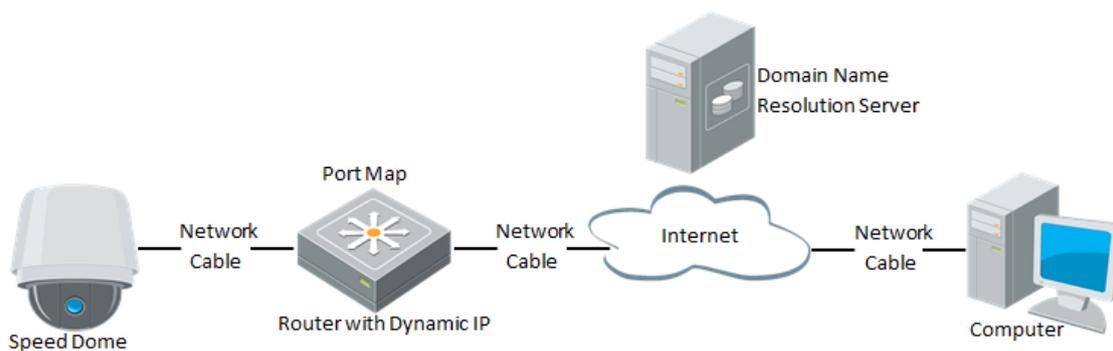


Figure 2-7 Normal Domain Name Resolution

手順:

1. ドメイン名をドメインプロバイダから申し込みします。
2. DDNS を設定します。
3. ドメイン名を経由してスピードドームにアクセスします。

◆ プライベート DDNS

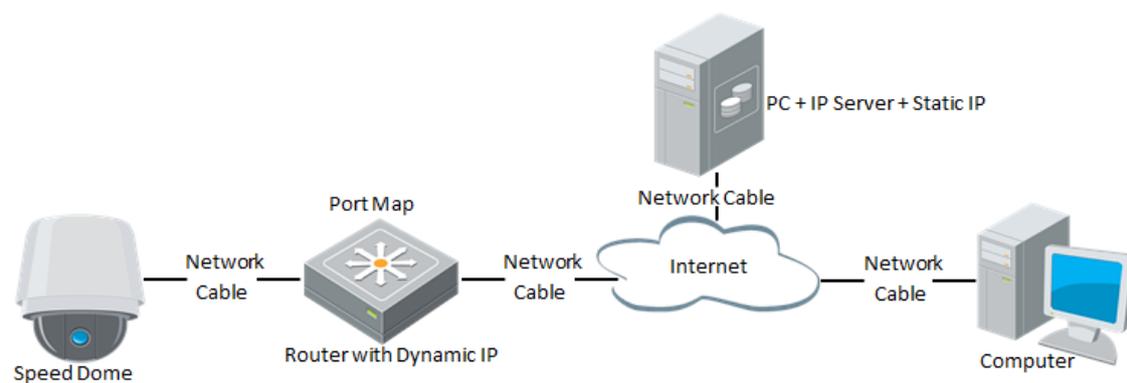


Figure 2-8 Private Domain Name Resolution

手順:

1. サーバに DDNS をインストールします。
2. DDNS を設定します。
3. ドメイン名を経由してスピードドームにアクセスします。

Chapter 3 ネットワークスピードドームにアクセス

3.1 ウェブブラウザからアクセス

手順:

1. ウェブブラウザを開きます。
2. ネットワークスピードドームの IP アドレスを入力します。
3. ユーザー名とパスワードを入力して  をクリックします。

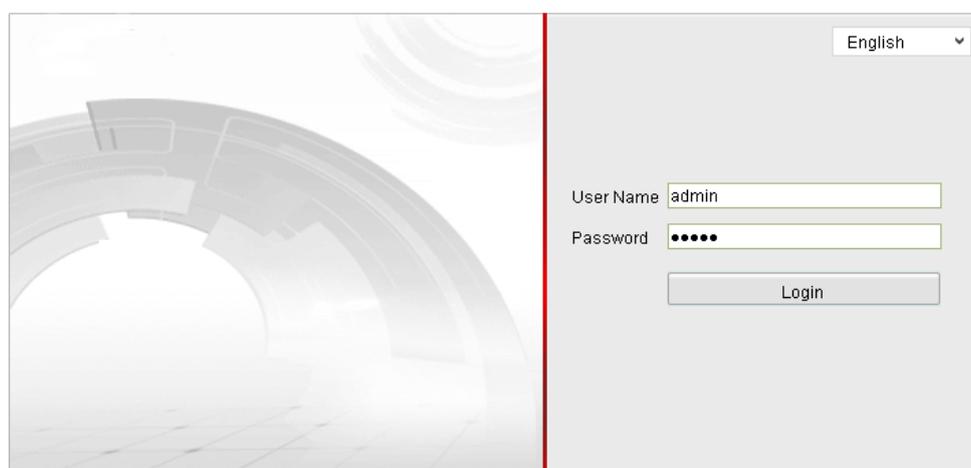


Figure 3-1 Login Interface

4. プラグインをインストールします。

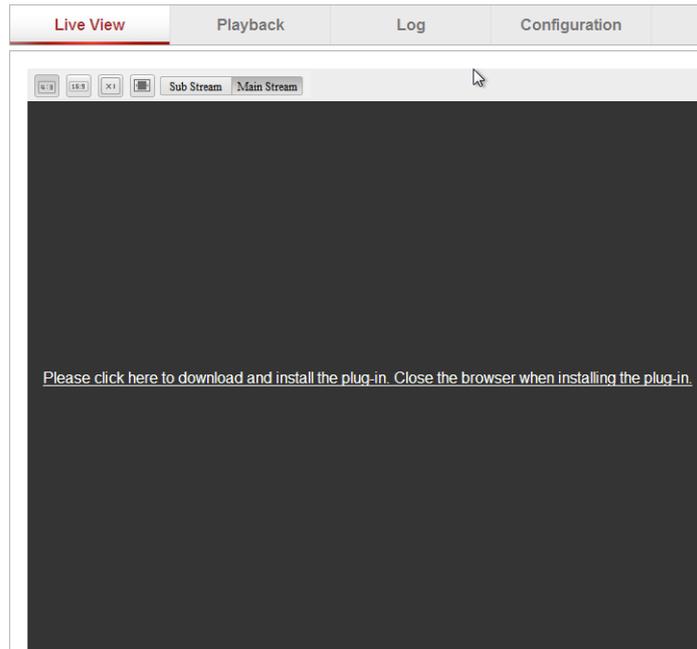


Figure 3-2 Download and Install Plug-in

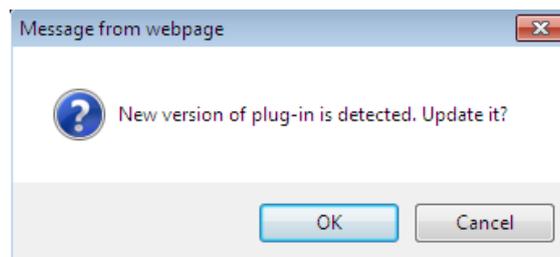


Figure 3-3 Install Plug-in (1)

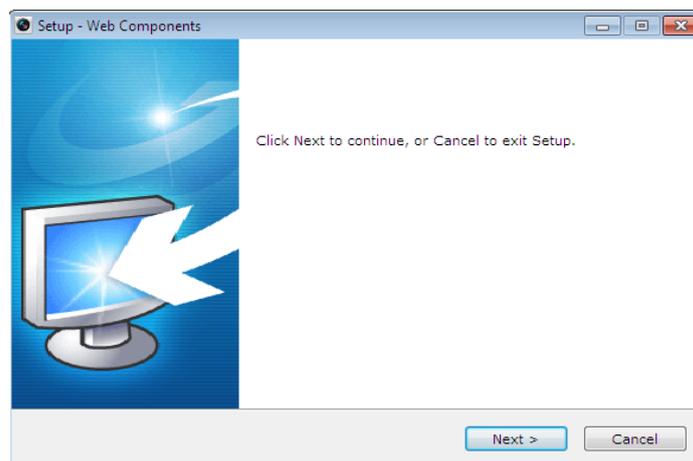


Figure 3-4 Install Plug-in (2)

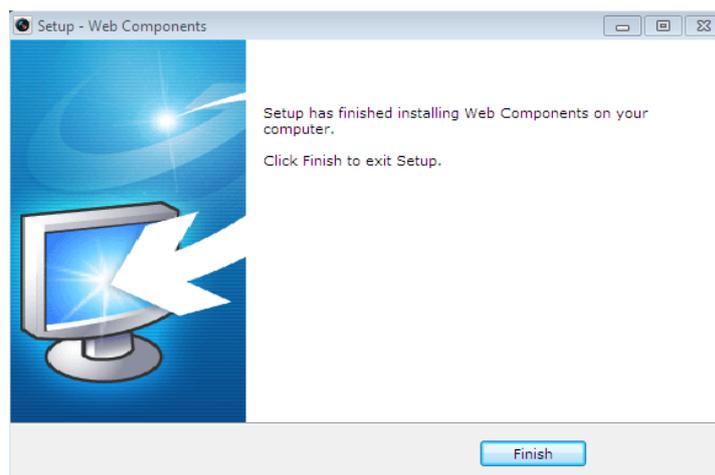


Figure 3-5 Install Plug-in (3)

注意: プラグインをインストールした後、ウェブブラウザを再起動する必要があります。

3.2 クライアントソフトからアクセス

次の手順に従い、クライアントソフトと WinPcap をインストールします。

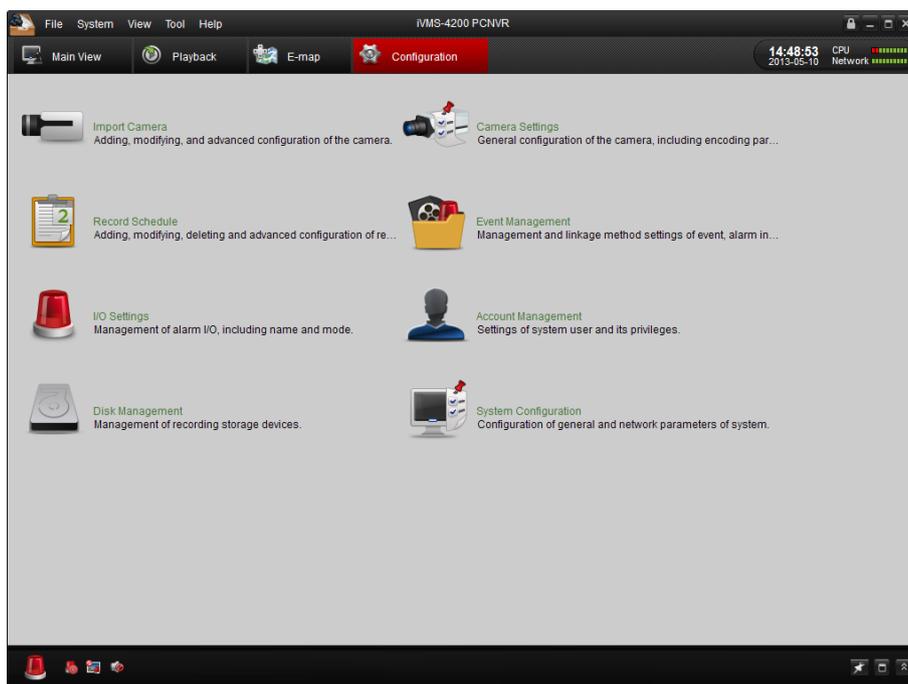


Figure 3-6 iVMS-4200 PCNVR Control Panel

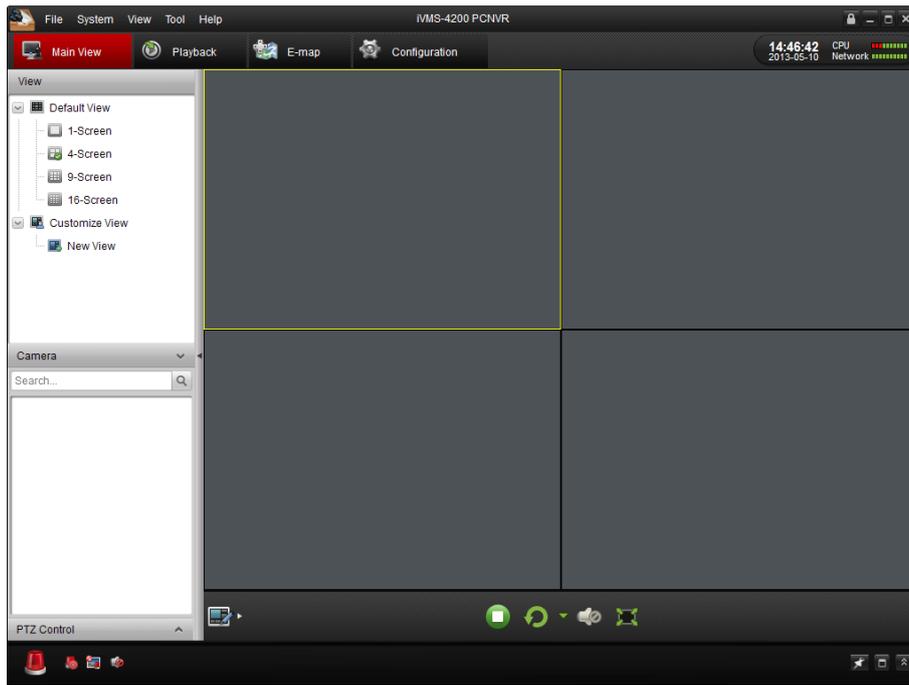


Figure 3-7 iVMS-4200 PCNVR Live View Interface

Chapter 4 ライブビュー

4.1 起動

スピードドームが起動した後、自身に対する動作確認があります。それに伴い、下記の画面は 40 秒ほど表示します。

Model	XX-2XXXXX-X
ADDRESS	0
COMMUNICATION	0000,0,0,0
SOFTWARE VERSION	V000
CAMERA VERSION	V000
LANGUAGE	ENGLISH

Figure 4-1 Power-up information

4.2 ライブビューページ

目的:

ログインした後、 をクリックして、ライブビューページに移動します。

ライブビューページの説明:



Figure 4-2 Live View Page

Menu Bar:

ライブビュー、再生、ログと設定ページに移動します。

Live View Window:

ライブビデオを表示する。

Toolbar:

ライブビューページの各操作、例えば、ライブビュー、録画、スナップショット、オーディオ、双方向音声など。

PTZ Control:

スピードドームのパン、チルト、ズーム操作。

Preset/patrol/pattern:

プリセット、パトロール、パターンの設定と呼び出し。

Live View Parameters:

ライブビューのストリームと画質設定

4.3 ライビュー開始

Figure 4-3 のライブビューウインドで、 をクリックしてライブビューの画面が見られます。



Figure 4-3 Start Live View

Table 4-1 Descriptions of the Toolbar

アイコン	説明	Icon	Description
	ライブビューオフ		ライブビューオン
	スナップショット		
	手動録画オフ		手動録画オン
	Audio on and adjust volume		ミュート
	双方向音声オフ		双方向音声オン
	3D ポジショニング		手動トラッキング

全画面モード:

ライブビューの画面をダブルクリックすることで全画面モードに切り替えられます。

3D ポジショニング:**手順:**

1.  クリックします。
2. 3D ポジショニングを操作します:
 - ライブビューの画面で左クリックします。
 - クリックした後、マウスの左ボタンを押しっぱなしで現在の位置から下にドラッグします。それで、表示する画面も移動します。
 - マウスの左ボタンを押しっぱなしで現在の位置から上にドラッグします。それで、表示する画面も対応する位置に移動します。

手動トラッキング:

始める前:

まず、スマートトラッキング設定画面に移動して、スマートトラッキングを有効します。

設定 > 詳細設定 > PTZ > スマートトラッキング

手順:

1.  をクリックします。
2. 画面の中に移動している物を左クリックします。そして、スピードドームはこのクリックされた物を自動トラッキングが可能になります。

4.4 手動録画とスナップショット

ライブビュー画面で、 をクリックして、スナップショットします。 をクリックして、手動録画します。

4.5 PTZ 操作

4.5.1 PTZ コントロールパネル

ライブビュー画面で、 をクリックして PTZ コントロール画面を呼び出します。



Figure 4-4 PTZ Control Panel

Table 4-2 Descriptions of PTZ Control Panel

ボタン	説明
	ズームイン/アウト
	焦点近く/遠く
	アイリス +/-
	動作スピード調整

4.5.2 プリセットの呼び出しと設定

- プリセットの設定:

手順:

1. PTZコントロールパネルで、プリセットリストからプリセット番号を選択します。

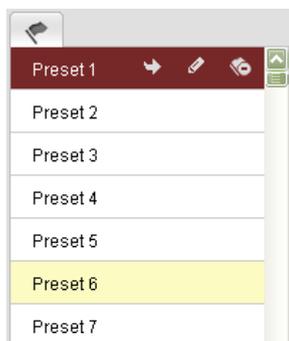


Figure 4-5 Setting a Preset

2. PTZボタンを使用して希望場所にレンズを移動します。
3.  をクリックして現在の場所をプリセットにします。
4.  をクリックして設定したプリセットの場所を削除します。

注意: 最大 256 プリセット設定することが可能です。

- プリセットの呼び出し:

PTZコントロールパネルで、リストから設定したプリセット番号を選択して、 をクリックします。

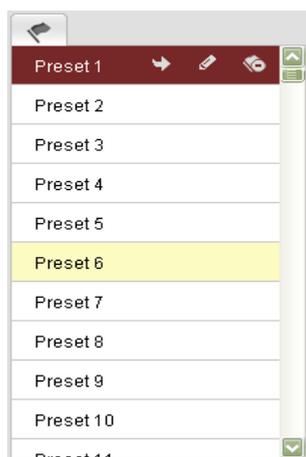


Figure 4-6 Calling a Preset

注意: 下記のプリセット番号はシステムより、デフォルトで設定しましたため、呼び出しが可能です。設定の変更ができません。

Table 4-3 Special Presets

特別プリセット	機能	特別プリセット	機能
33	Auto flip	93	Set limit stops manually
34	Back to initial position	94	Remote reboot
35	Call patrol 1	95	Call OSD menu
36	Call patrol 2	96	Stop a scan
37	Call patrol 3	97	Start random scan
38	Call patrol 4	98	Start frame scan
39	IR cut filter in	99	Start auto scan
40	IR cut filter out	100	Start tilt scan
41	Call pattern 1	101	Start panorama scan
42	Call pattern 2	102	Call patrol 5
43	Call pattern 3	103	Call patrol 6
44	Call pattern 4	104	Call patrol 7
92	Start to set limit stops	105	Call patrol 8



Figure 4-7 Special Preset

4.5.3 パトロールのセットと呼び出し

目的:

パトロールはすでに設定したプリセットを連結し連続的にレンズを動かす機能です。最大 8 つのパトロール設定が可能、1 つのパトロールは最大 32 プリセットが追加されます。

始める前:

まず、プリセットの設定が必要

- パトロールの設定:

手順:

1. PTZコントロールパネルで、 をクリックしてパトロール設定画面に移動します。
2. パトロール番号 を選択します。
3.  をクリックしてプリセットを追加します。

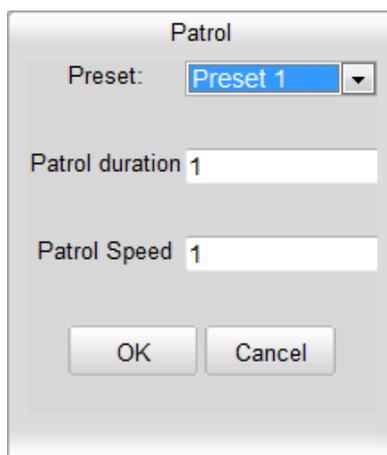
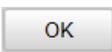
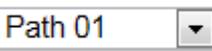


Figure 4-8 Adding Presets

4. プリセット番号とパトロールスピード、滞在時間を設定します。
5.  をクリックしてプリセットを保存します。
6. 手順3 -5を繰り返して、別のプリセットを追加します。
7.  をクリックしてパトロールの設定を保存します。

- パトロール呼び出し:

PTZコントロールパネルで、 リストから設定したパトロールを選択して、

 をクリックしてパトロールを呼び出します。

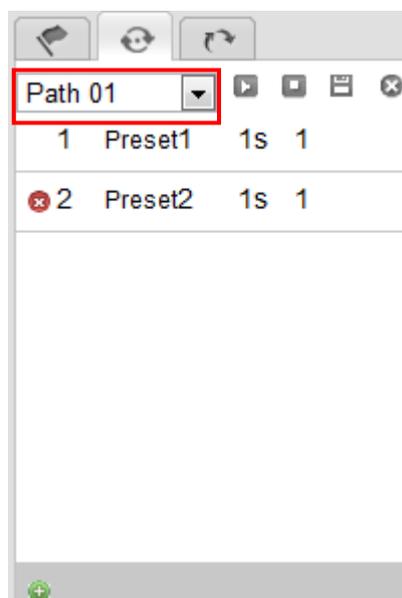


Figure 4-9 Calling a Preset

- ボタン説明:

ボタン	説明
	Save a patrol
	Call a patrol
	Stop a patrol
	Enter the adding interface of preset
	Modify a preset
	Delete a preset
	Delete all the presets in one patrol

4.5.4 パターンのセットと呼び出し

- パターンの設定:

手順:

1. PTZコントロールパネルで  をクリックしてパターン設定画面に移動します。
下記のリストからパターン番号を選択します。

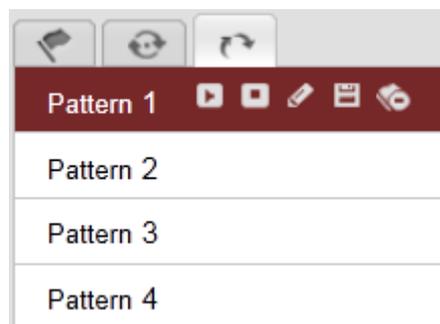


Figure 4-10 Patterns Settings Interface

2.  をクリックして、パン、チルトとズームの操作を記録することを有効にします。
3. メモリ容量の範囲内でPTZコントロールボタンでレンズを移動します。



Figure 4-11 Remaining Memory

4.  をクリックしてパターンを設定を保存します。

- ボタン説明:

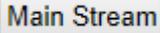
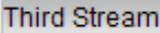
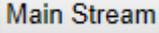
ボタン	説明
	Start to record a pattern.
	Stop recording a pattern.
	Call the current pattern.
	Stop the current pattern.
	Delete the current pattern.

注意:

- 最大4つパターンを設定することが可能です。

4.6 ライブビューパラメータ

- メインストリーム/サブストリーム/サードストリーム:

、、または、 をクリックしたら、ライブビューの表示用ストリームの切り替えができます。デフォルトは  です。

- 画面サイズ:

    をクリックしたら、画面サイズ 4:3, 16:9 の変更が可能です。

Chapter 5 PTZ 設定

5.1 ホーム位置設定

- ホーム位置設定:

手順:

1. 設定画面に移動します:
設定 > 詳細設定 > PTZ > ホーム位置

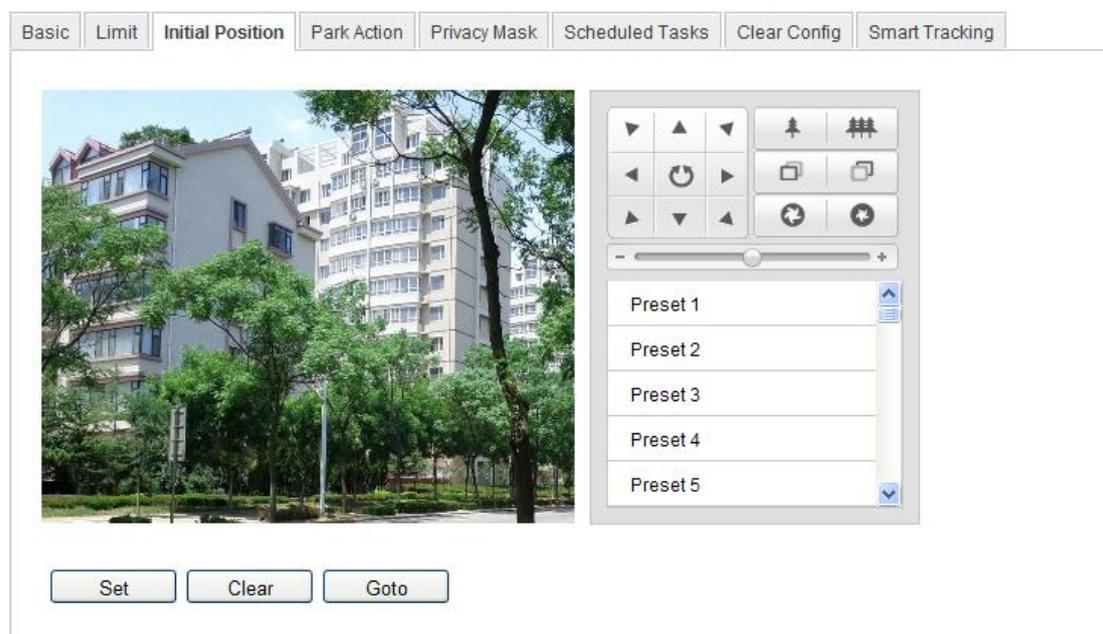


Figure 5-1 PTZ Configuration

2. PTZ ボタンを調整して、ホーム位置を決めます。
3. **Set** をクリックして設定を保存します。

- ホーム位置の呼び出しと削除:

Goto をクリックするとホーム位置への移動ができます。**Clear** をクリックすることで、設定したホーム位置を削除し、工場出荷時のホーム位置の設定に戻ります。

5.2 基本 PTZ パラメータ設定

1. 基本 PTZ パラメータ設定画面に移動します:
設定 > 詳細設定 > PTZ > 基本

Figure 5-2 Basic PTZ Configuration Interface

2. 下記の項目を設定します:

- **基本パラメータ:** 比例パン、プリセットフリーズ、プリセットスピード、キーボード制御スピード、オートスキャンスピードを設定有効/無効
 - ◆ **比例パン:** この機能を有効にすると、パン/チルトスピードは、ズームの幅に応じて変化します。ズームの幅が多い場合には、ライブビュー画像を安定に保持するためパン/チルトのスピードをあまりにも速く移動させないです。
 - ◆ **プリセットフリーズ:** この機能は、監視効率を確保するために、2つのプリセット間の中間領域を示すことなく、別のプリセットによって定義されたシーンから直接ライブビューに切り替えが可能になります。また、ネットワークシステムにおける帯域幅の使用を低減することができます。
 - ◆ **プリセットスピード:** 1から8まで定義したプリセットの速度を設定することができます。
 - ◆ **キーボード制御スピード:** ロー、ノーマルまたはハイ、のPTZコントロールキーボードの速度を設定します。
- **オートスキャンスピード:** オートスキャン、チルトスキャン、フレームスキャン、ランダムスキャンとパノラマスキャン: 5スキャンモードがあります。スキャンスピードは、レベル1~40に設定することができます。
- **PTZ OSD:** PTZステータスのオンスクリーン表示時間を設定します。
 - ◆ **ズームステータス:** 2秒、5秒、10秒、常に閉じるまたは常に開きのズーム状態のOSD時間を設定します。
 - ◆ **PTステータス:** パンニングとチルティング動作時の方位角表示時間を、2秒、5秒、10秒、常に閉じるまたは常に開きに設定します。
 - ◆ **プリセットステータス:** プリセットを呼び出し中にプリセット名の表示時間を2秒、5秒、10秒、常に閉じるまたは常に開きに設定します。
- **パワーオフメモリ:** 電源オフから再起動した後にドームはその前のPTZの状態やアクションを再開することができます。ドームがPTZの状態を再開した時点を設定することができます。電源オフの前の30秒、60秒、300秒、または、600秒の状態を再開

するように設定することができます。

3.  をクリックして設定を保存します。

5.3 PTZ リミットストップの設定

手順:

1. 設定画面に移動します:
設定 > 詳細設定 > PTZ > リミット

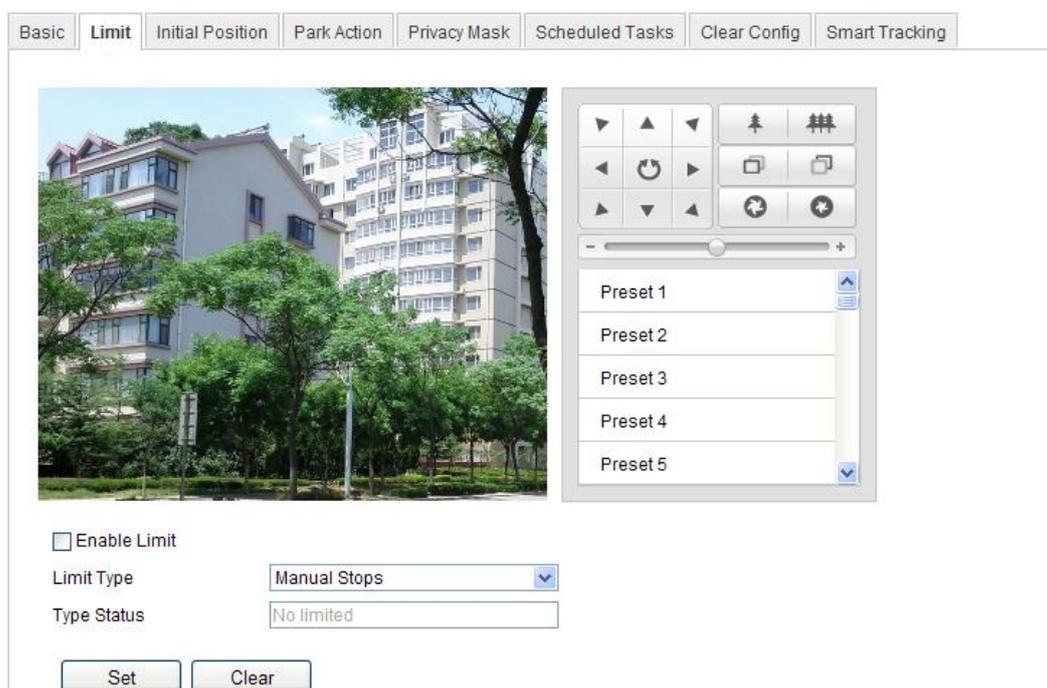


Figure 5-3 Configure the PTZ Limit

- **Enable Limit** をチェックして、手動ストップ、または、スキャンストップのリミットタイプを選択します。

- **手動ストップ:**

手動リミットストップが設定されている場合には、限られた監視エリアで手動PTZコントロールパネルを操作することができます。

- **スキャンストップ:**

スキャンリミットストップが設定されると、ランダムスキャン、フレームスキャン、自動スキャン、チルトスキャン、パノラマスキャンは限られた監視エリアで行われる。

注意: 手動ストップの優先順位がスキャンストップより高いです。

2. 左/右/上/下の PTZ コントロール操作により、リミットストップを設定することができます。または、設定されたプリセットを呼び出して、設定することも可能です。
3. **Set** をクリックしてリミットを保存します、または、**Clear** をクリックしてリミットを削除します。

5.4 スケジュールタスクの設定

目的:

あるスケジュールに沿い、事前に設定したアクションをドームに自動に動作させます。

手順:

1. 設定画面に移動します:

設定 > 詳細設定 > PTZ > スケジュールタスク

Basic Limit Initial Position Park Action Privacy Mask **Scheduled Tasks** Clear Config Smart Tracking

Enable Scheduled Task

Park Time second

Timing Tasks Edit Tasks

	0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24
Mon													
Tue													
Wed													
Thu													
Fri													
Sat													
Sun													

Note: Red and green colors are used to distinguish the neighboring scheduled tasks.

Save

Figure 5-4 Configure Scheduled Tasks

2. **Enable Scheduled Task**をチェックします。
3. **Park Time** (スケジュールタスク開始前の滞在時間) を設定します。
4. スケジュールタスクの詳細を設定します。

手順:

- (1) Edit Tasks をクリックします。

Timing Tasks

All Day

Customize

Period	Start Time	End Time	Task Type	Task Type ID
1	00:00	00:00	Close	
2	10:30		Close	
3	00:00	00:00	Close	
4	00:00	00:00	Close	
5	00:00	00:00	Close	
6	00:00	00:00	Close	
7	00:00	00:00	Close	
8	00:00	00:00	Close	
9	00:00	00:00	Close	
10	00:00	00:00	Close	

Copy to Week Select All

Mon Tue Wed Thu Fri Sat Sun

Figure 5-5 Edit the Schedule and Task Type

- (2) タスクが稼働する日付を選択します。
- (3) **All Day** をクリックするとオールディーで稼働します。または、**Customize** をクリックして、各タスクの**Start Time** と**End Time** を設定します。
- (4) リストからタスクのタイプを選択します。



Figure 5-6 Task Types

- (5) ある日付のタスクの設定が完了した後、ほかの日付にコピーすることが可能です。
- (6) をクリックしてタスクタイプを保存します。

注意: 一日最大 10 個のタスクの設定が可能です。

5. をクリックして設定を保存します。

5.5 パークアクション

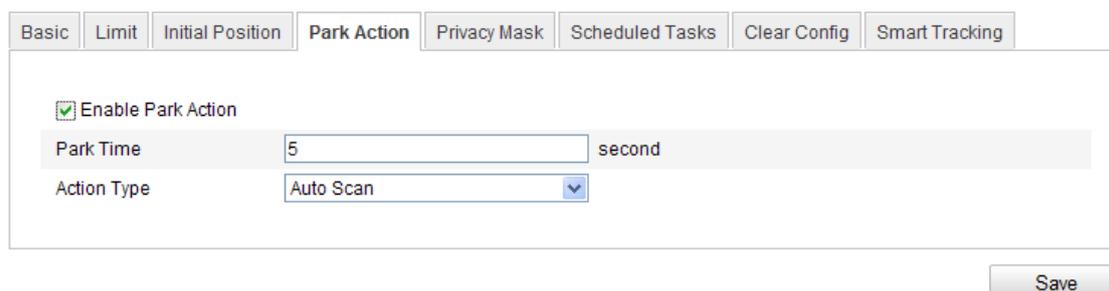
目的:

この機能は事前に設定したパークアクションを稼働させます。

注意: スケジュールタスクと同時設定する場合、優先順位はスケジュールタスクが高いです。

手順:

1. 設定画面に移動します:
設定 > 詳細設定 > パークアクション



The screenshot shows a configuration window with several tabs: Basic, Limit, Initial Position, Park Action (selected), Privacy Mask, Scheduled Tasks, Clear Config, and Smart Tracking. Under the Park Action tab, there is a checkbox for 'Enable Park Action' which is checked. Below it, 'Park Time' is set to '5' with the unit 'second'. 'Action Type' is set to 'Auto Scan' from a dropdown menu. A 'Save' button is located at the bottom right of the configuration area.

Figure 5-7 Set the Park Action

2. **Enable Park Action** をチェックします。
3. **Park Time** (アクション稼働開始前の滞在時間) を設定します。
4. リストからタスクのタイプを選択します。

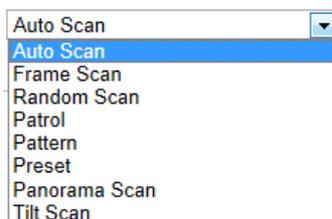


Figure 5-8 Action Types

5.  をクリックして設定を保存します。

5.6 プライバシーマスクの設定

手順:

1. 設定画面に移動します:
設定 > 詳細設定 > PTZ > プライバシーマスク

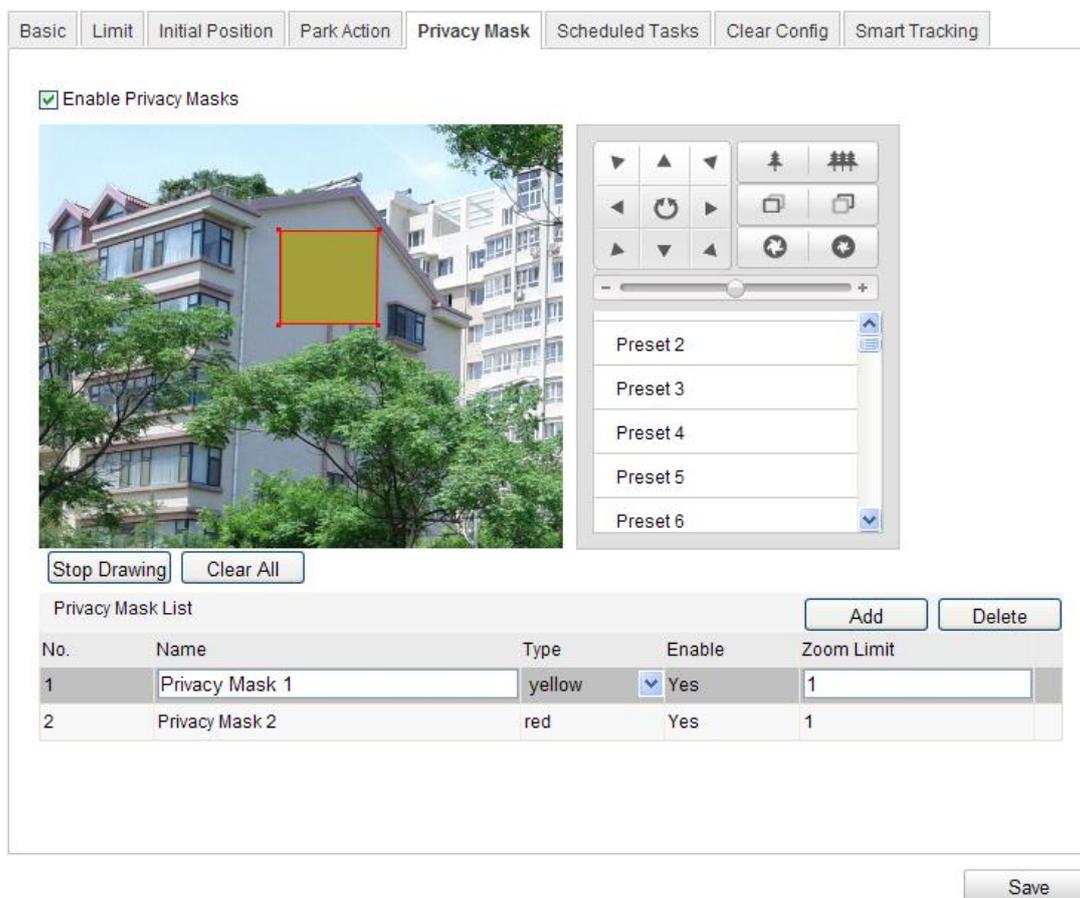


Figure 5-9 Draw the Privacy Mask

- ドームをプライバシーマスクのエリアに移動します。
- Draw Area** をクリックして; プライバシーマスクのエリアを設定します。
- マウスをドラッグ操作で四角型のエリアを描きます。
- Stop Drawing** をクリックしてエリアの設定を完了します。または、**Clear All** をクリックしてエリアを削除します。
- Add** をクリックして、エリアを保存します、そして、保存したエリアはリストに表示されます。**Delete** をクリックしてリストから削除することも可能です、同時エリアの色も定義されます。

No.	Name	Type	Enable
1	Privacy Mask 1	gray	<input type="checkbox"/> Yes
2	Privacy Mask 2	gray	<input type="checkbox"/> Yes

Figure 5-10 Privacy Mask List



Figure 5-11 Define Mask Color

7. **Enable Privacy Mask** クリックして機能を有効にします。

注意: 最大 24 エリア設定が可能です。

5.7 スマートトラッキングの設定

手順:

1. 設定画面に移動します:

設定 > 詳細設定 > PTZ > プライバシーマスク > スマートトラッキング

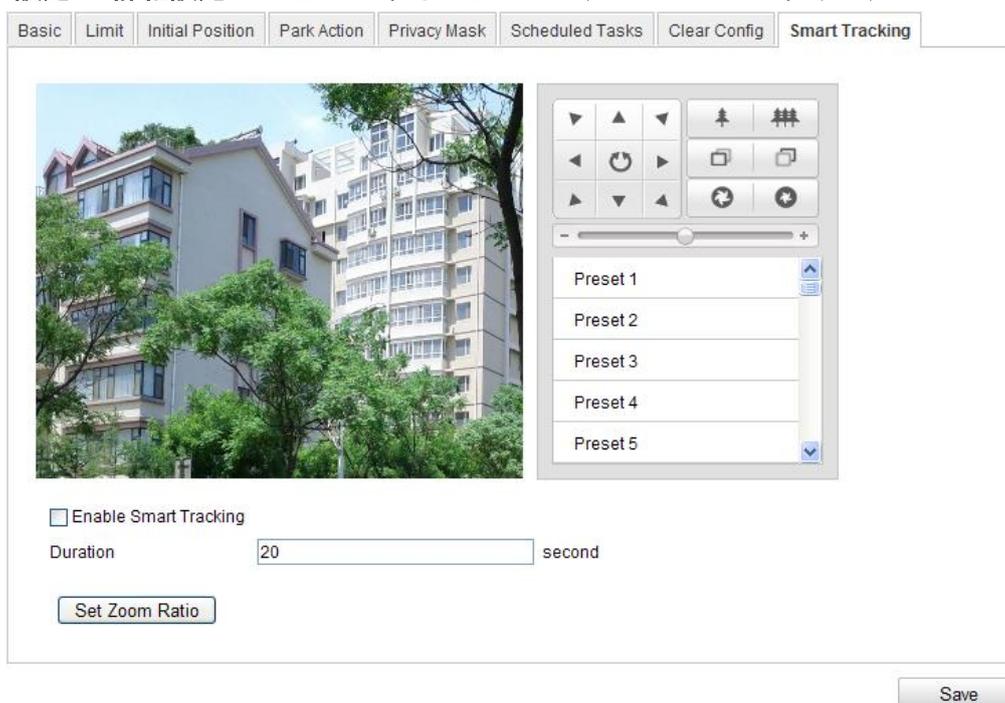


Figure 5-12 Configure Smart Tracking

2. **Enable Smart Tracking** をチェックします。
3. PTZ ボタンを押して、オブジェクトを選択します。
4. **Set Zoom Ratio** をクリックして現在のズーム率をトラッキングズーム率として設定します。
5. トラッキング滞在時間を設定します。時間の設定範囲は 0-300 秒まで可能です。

5.8 PTZ 設定削除

手順:

1. 設定画面に移動します:
設定 > 詳細設定 > PTZ > 設定削除
2. チェックボックスから削除したい項目をチェックします。
3.  をクリックして削除します。

Chapter 6 スピードドームの設定

6.1 ローカルパラメータの設定

手順:

1. 設定画面に移動します:
設定 > ローカル設定

The screenshot shows the 'Local Configuration' interface with the following settings:

- Live View Parameters**
 - Protocol: TCP, UDP, MULTICAST, HTTP
 - Live View Performance: Shortest Delay, Real Time, Balanced, Fluency
 - Rules: Enable, Disable
 - Image Format: JPEG, BMP
- Record File Settings**
 - Record File Size: 256M, 512M, 1G
 - Save record files to: C:\Documents and Settings\shoujieyu\Web\RecordFiles (Browse)
 - Save downloaded files to: C:\Documents and Settings\shoujieyu\Web\DownloadFiles (Browse)
- Picture and Clip Settings**
 - Save snapshots in live view to: C:\Documents and Settings\shoujieyu\Web\CaptureFiles (Browse)
 - Save snapshots when playback to: C:\Documents and Settings\shoujieyu\Web\PlaybackPics (Browse)
 - Save clips to: C:\Documents and Settings\shoujieyu\Web\PlaybackFiles (Browse)

A 'Save' button is located at the bottom right of the interface.

Figure 6-1 Local Configuration Interface

2. 下記の項目を設定します:
 - **ライブビューパラメータ**: プロトコルタイプ、ストリームタイプ、画像サイズ、ライブビュー性能を設定します。
 - ◆ **プロトコルタイプ**: TCP, UDP, MULTICAST と HTTP を選択できます。
 - ◆ **ライブビュー性能**: ライブビューのパフォーマンスの最小遅延、バランスまたはベストフルーエンシーを設定します。
 - ◆ **ルール**: モーションの動的解析のルールを有効または無効にすることができます。
 - ◆ **イメージ保存形式**: JPEG、または、BMP
 - **録画ファイル設定**: 保存パスの設定
 - ◆ **録画ファイルサイズ**: 一個当たりの録画ファイルのサイズを設定します。256M, 512M または 1G の設定が可能です。

- ◆ **Save record files to:** 手動録画の保存パス
 - ◆ **Save downloaded files to:**  インターフェースでダウンロード録画ファイルの保存パス
 - **Picture and Clip Settings:** スナップショットとクリップの保存パスの設定
 - ◆ **Save snapshots in live view to:**  インターフェースでスナップショットの保存パス
 - ◆ **Save snapshots when playback to:**  インターフェースでスナップショットの保存パス
 - ◆ **Save clips to:**  インターフェースでビデオクリップの保存パス
3.  をクリックして設定を保存します。

6.2 タイムの設定

設定画面に移動します：

設定 > 基本設定 > システム > タイム設定

または 設定 > 詳細設定 > システム > タイム設定

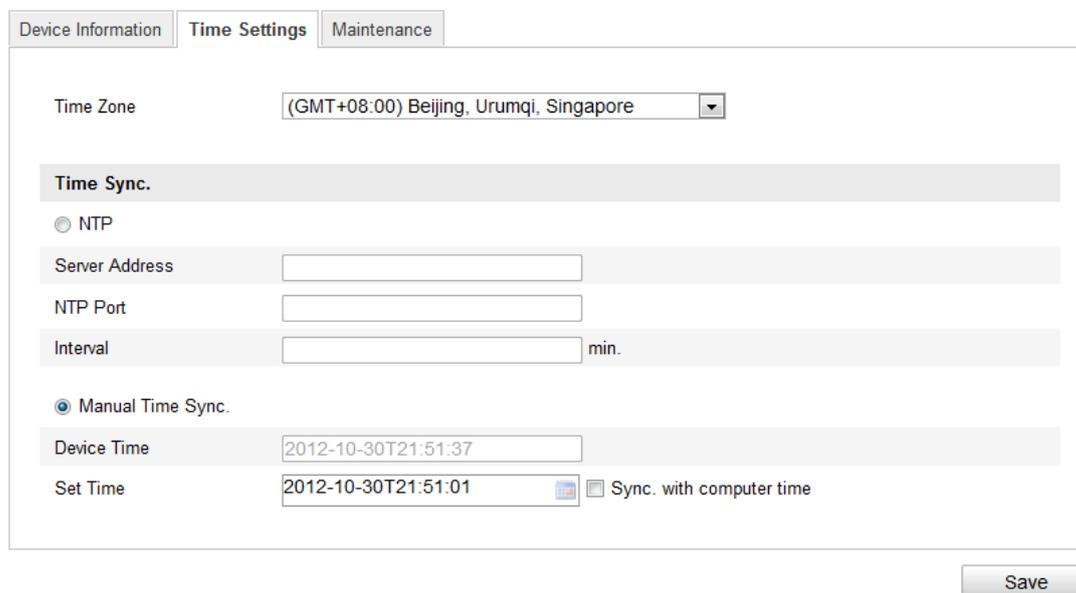


Figure 6-2 Time Settings

- **NTP サーバによる時間同期**

- (1) NTP をチェックします。
- (2) 下記の項目を設定します：

サーバアドレス: NTP サーバの IP アドレス。

NTP Port: NTP server ポート、デフォルトは 123 です。

Interval: 時間同期の間隔 (1m-10080m)

Figure 6-3 Time Sync by NTP Server

● 手動時間同期

(1) **Manual Time Sync** をクリックします。

(2)  クリックしてポップアップのカレンダーでシステム時間を設定します。

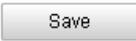
(3)  をクリックして設定を保存します。

Figure 6-4 Time Sync Manually

● タイムゾーン

Figure 6-5 Time Zone Settings

● 夏時間の設定 (サマータイム)

手順:

(1) 設定画面に移動します

- (2) 設定 > 詳細設定 > システム > DST
- (3) Enable DST をチェックします。
- (4) DST の日付を設定します。
- (5) をクリックして設定を保存します。

DST

Enable DST

Start Time Apr ▼ First ▼ Sun ▼ 02 ▼ o'clock

End Time Oct ▼ Last ▼ Sun ▼ 02 ▼ o'clock

DST Bias 30min ▼

Figure 6-6 DST Settings

6.3 ネットワーク設定

6.3.1 TCP/IP の設定

手順:

1. 設定画面に移動します
設定 > 基本設定 > システム > ネットワーク > TCP/IP
または 設定 > 詳細設定 > ネットワーク > TCP/IP

TCP/IP Port

NIC Settings

NIC Type Auto

DHCP

IPv4 Address 172.8.4.166

IPv4 Subnet Mask 255.255.255.0

IPv4 Default Gateway 172.8.4.1

IPv6 Mode Route Advertisement View Route Advertisement

IPv6 Address

IPv6 Subnet Mask

IPv6 Default Gateway

Mac Address 8c:e7:48:d9:b1:4c

MTU 1500

Multicast Address

DNS Server

Preferred DNS Server 8.8.8.8

Alternate DNS Server

Save

Figure 6-7 TCP/IP Settings

2. NIC設定します、IPv4(IPv6) Address, IPv4(IPv6) Subnet Mask と IPv4(IPv6) Default Gateway.
3.  をクリックして設定を保存します。

注意:

- もし、DNSの設定も必要であれば、DNSを設定します。

DNS Server

Preferred DNS Server 8.8.8.8

Alternate DNS Server

Figure 6-8 DNS Server Settings

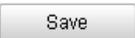
6.3.2 ポートの設定

手順:

1. 設定画面に移動します
設定 > 基本設定 > システム > ネットワーク > ポート
または 設定 > 詳細設定 > ネットワーク > ポート

Port	Value
HTTP Port	80
RTSP Port	554
HTTPS Port	443
Server Port	8000

Figure 6-9 Port Settings

2. ポート設定します。
HTTP Port: 80.
RTSP Port: 554.
HTTPS Port: 443.
SDK Port: 8000.
3.  をクリックして設定を保存します。

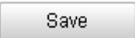
6.3.3 PPPoE の設定

手順:

1. 設定画面に移動します
設定 > 詳細設定 > ネットワーク > PPPoE

Field	Value
Dynamic IP	0.0.0.0
User Name	
Password	
Confirm	

Figure 6-10 PPPoE Settings

2. **Enable PPPoE** をチェックします。
3. **User Name**, **Password**を入力します。
4.  をクリックして設定を保存します。
- 5.

6.3.4 DDNS の設定

始める前:

DDNSサービスの申請が必要

手順:

1. 設定画面に移動します：
設定 > 詳細設定 > ネットワーク > DDNS

The screenshot shows the DDNS configuration page. At the top, there are tabs for various settings: TCP/IP, Port, DDNS (selected), PPPoE, SNMP, 802.1X, QoS, FTP, UPnP™, Email, and NAT. Below the tabs, the 'Enable DDNS' checkbox is checked. The 'DDNS Type' dropdown menu is set to 'DynDNS'. The following fields are empty: Server Address, Domain, Port (set to 0), User Name, Password, and Confirm. A 'Save' button is located at the bottom right of the form area.

Figure 6-11 DDNS Settings

2. **Enable DDNS** をチェックします。
3. **DDNS Type.** を選択します。: IP Server, HiDDNS and DynDNS.

- **DynDNS:**

手順:

- (1) DynDNS (e. g. members.dyndns.org) のIPアドレスを入力します。
- (2) ドメイン名を入力します。
- (3) DynDNS serverのポートを入力します。
- (4) **User Name** と **Password** を入力します。
- (5)  をクリックして設定を保存します。

This screenshot shows the same DDNS configuration page as Figure 6-11, but with the fields populated. The 'Server Address' field contains 'members.dyndns.org', the 'Domain' field contains '123.dyndns.org', the 'User Name' field contains 'test', and both the 'Password' and 'Confirm' fields are filled with dots, indicating they have been entered. The 'Save' button is still visible at the bottom right.

Figure 6-12 DynDNS Settings

- IP Server:

手順:

- (1) IP Server のIPアドレスを入力します。
- (2)  をクリックして設定を保存します。

Enable DDNS

DDNS Type	IPServer
Server Address	202.23.10.117

Figure 6-13 IPServer Settings

- HiDDNS:

手順:

- (1) www.hik-online.comを入力します。
- (2) ドメイン名を入力します。
- (3)  をクリックして設定を保存します。

Enable DDNS

DDNS Type	HiDDNS
Server Address	www.hik-online.com
Domain	423315940
Port	0
User Name	
Password	
Confirm	

Figure 6-14 HiDDNS Settings

- NO-IP:

手順:

- (1) NO-IPのIPアドレスを入力します。
- (2) ドメイン名を入力します。
- (3) NO-IP serverのポートを入力します。
- (4) **User Name** と **Password** を入力します。
- (5)  をクリックして設定を保存します。

6.3.5 SNMP の設定

手順:

1. 設定画面に移動します：
設定 > 詳細設定 > ネットワーク > SNMP

TCP/IP	Port	DDNS	PPPoE	SNMP	802.1X	QoS	FTP	UPnP™	Email	NAT
SNMP v1/v2										
Enable SNMPv1	<input checked="" type="checkbox"/>									
Enable SNMP v2c	<input checked="" type="checkbox"/>									
Write SNMP Community	private									
Read SNMP Community	public									
Trap Address										
Trap Port	162									
Trap Community	public									
SNMP v3										
Enable SNMPv3	<input type="checkbox"/>									
Read UserName										
Security Level	no auth, no priv									
Authentication Algorithm	<input checked="" type="radio"/> MD5 <input type="radio"/> SHA									
Authentication Password										
Private-key Algorithm	<input checked="" type="radio"/> DES <input type="radio"/> AES									
Private-key password										
Write UserName										
Security Level	no auth, no priv									
Authentication Algorithm	<input checked="" type="radio"/> MD5 <input type="radio"/> SHA									
Authentication Password										
Private-key Algorithm	<input checked="" type="radio"/> DES <input type="radio"/> AES									
Private-key password										
SNMP Other Settings										
SNMP Port	161									
<input type="button" value="Save"/>										

Figure 6-15 SNMP Settings

2. (Enable SNMPv1, Enable SNMPv2c, Enable SNMPv3) の中の一つをチェックします。
3. SNMPを設定します。
4. をクリックして設定を保存します。

6.3.6 802.1X の設定

目的:

標準によるアクセス認証をサポートします。

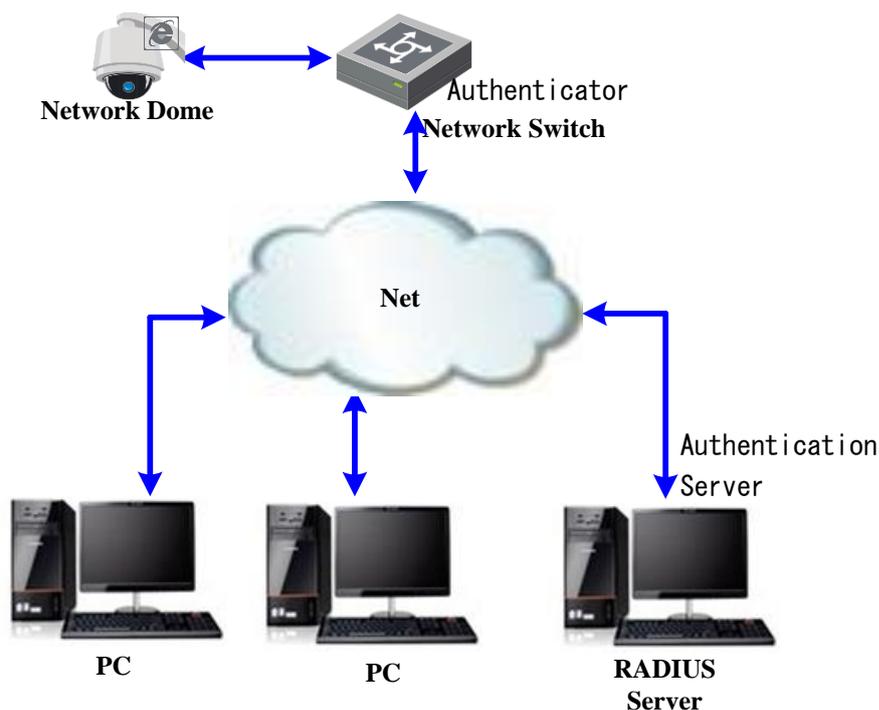


Figure 6-16 Protected LAN

手順:

1. ネットワークカメラを直接 PC と接続します。
2. 設定画面に移動します:
設定 > 詳細設定 > ネットワーク > 802.1X

TCP/IP	Port	DDNS	PPPoE	SNMP	802.1X	QoS	FTP	UPnP™	Email	NAT
<input checked="" type="checkbox"/> Enable IEEE 802.1X Protocol: EAP-MD5 EAPOL version: 1 User Name: <input type="text"/> Password: <input type="text"/> Confirm: <input type="text"/>										
										Save

Figure 6-17 802.1X Settings

3. **Enable IEEE 802.1X** をチェックします。
 4. 802.1X settings を設定します。
 5. ユーザ ID とパスワードを入力してサーバとアクセスします。
 6. をクリックして設定を保存します。
- 注意:** 設定完了後、自動再起動します。
7. 設定完了後、保護されたネットワークにネットワークカメラを接続します。

6.3.7 QoS の設定

手順:

1. 設定画面に移動します:
設定 > 詳細設定 > ネットワーク > QoS

Figure 6-18 QoS Settings

2. QoS (video/audio DSCP, event/alarm DSCP と Management DSCP) を設定します。
DSCP の設定範囲は 0-63、高ければ高いほど、優先順位が高いです。
3.  をクリックして設定を保存します。

注意:

- 設定有効するには、再起動が必要です。

6.3.8 FTP 設定

手順:

1. 設定画面に移動します:
設定 > 詳細設定 > ネットワーク > FTP

Figure 6-19 FTP Settings

2. FTP (server address, port, user name, password など) を設定します。

- ファイルを保存する FTP サーバにディレクトリを設定する：
 - ◆ Root directory: ファイルは、FTP サーバのルートに保存されます。
 - ◆ Parent directory: ファイルは、FTP サーバ内のフォルダに保存されます。

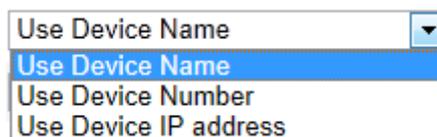


Figure 6-20 Parent Directory

- ◆ Child directory: 親ディレクトリ内に作成するサブフォルダです。ファイルが FTP サーバにあるサブフォルダに保存されます。

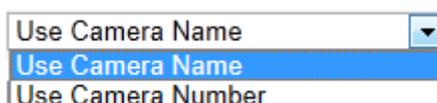
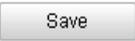


Figure 6-21 Child Directory

- Upload type: FTP サーバにキャプチャした画像をアップロードできるようにする。
3.  をクリックして設定を保存します。

6.3.9 UPnP™ の設定

手順:

1. 設定画面に移動します：
設定 > 詳細設定 > ネットワーク > UPnP
2. UPnP™ をチェックします。
フレンドリ名を入力します。



Figure 6-22 Configure UPnP Settings

6.3.10 NAT の設定

手順:

1. 設定画面に移動します:

デフォルトポートの解放:

Port Mapping Mode

カスタマサイズポートの解放:

Port Mapping Mode

Enable Port Mapping

Port Mapping Mode

	Protocol Name	External Port	Status
<input checked="" type="checkbox"/>	HTTP	83	Not Valid
<input checked="" type="checkbox"/>	RTSP	554	Not Valid
<input checked="" type="checkbox"/>	SDK	8003	Not Valid

2. をクリックして設定を保存します。

6.3.11 Email の設定

目的:

アラームが発報時に、Email で事前に指定したところに送信できます。

始める前:

DNSの設定が必要です。

手順:

1. 設定画面に移動します:

設定 > 詳細設定 > ネットワーク > Email

Sender	
Sender	<input type="text"/>
Sender's Address	<input type="text"/>
SMTP Server	<input type="text"/>
SMTP Port	<input type="text" value="25"/>
<input type="checkbox"/> Enable SSL	
Interval	<input type="text" value="2s"/> <input type="checkbox"/> Attached Image
<input type="checkbox"/> Authentication	
User Name	<input type="text"/>
Password	<input type="text"/>
Confirm	<input type="text"/>
Receiver	
Receiver1	<input type="text"/>
Receiver1's Address	<input type="text"/>
Receiver2	<input type="text"/>
Receiver2's Address	<input type="text"/>
Receiver3	<input type="text"/>
Receiver3's Address	<input type="text"/>

Figure 6-23 Email Settings

- 下記の項目を設定します：

Sender：送信者。

Sender's Address：送信者のメールアドレス。

SMTP Server：SMTP サーバのアドレス。

SMTP Port：SMTP port、デフォルトポートは 25。

Enable SSL：SSL による送信を有効します。

Attached Image：アラーム発生時の写真のファイルを添付します。

Interval：送信の間隔

Authentication (optional)：メールサーバの認証

Receiver：受信者

Receiver's Address：受信者のアドレス

- をクリックして設定を保存します。

6.4 ビデオとオーディオの設定

6.4.1 ビデオの設定

手順:

1. 設定画面に移動します:

設定 > 基本設定 > ビデオ / オーディオ > ビデオ

または、設定 > 詳細設定 > ビデオ / オーディオ > ビデオ

Stream Type	Main Stream(Normal)
Video Type	Video&Audio
Resolution	1920*1080P
Bitrate Type	Constant
Video Quality	Medium
Frame Rate	25
Max. Bitrate	6144 Kbps
Video Encoding	H.264
Profile	High Profile
I Frame Interval	25

Figure 6-24 Configure Video Settings

2. メイン、サブ、サードストリームの **Stream Type** を選択します。
3. ストリームの各パラメータを設定します。

ビデオタイプ:

ビデオ、もしくは、ビデオ・オーディオ

解像度:

ビデオ出力解像度

ビットレートタイプ:

ビットレートタイプを可変、または、固定に設定します。

画質:

ビットレートを可変に設定する場合、6 レベルの画質は選択できます。

フレームレート:

動画において、単位時間あたりいくつフレーム（映像）・コマのことが処理されるか、という値である。通常、1 秒あたりの数値で表し、fps (Frames Per Second、フレームスパーセコンド) という単位で表す。

最大ビットレート:

最大ビットレートは 32~16384 Kbps の設定ができます。

Video Encoding:

H.264 または、 MJPEG の設定ができます。

プロファイル:

High Profile / Main Profile / Basic Profile.

I Frame Interval:

I- Frame の間隔を 1-400 の設定ができます。

4.  をクリックして設定を保存します。

6.4.2 オーディオの設定

手順:

1. 設定画面に移動します:
2. 設定 > 基本設定 > ビデオ / オーディオ > オーディオ
3. または、設定 > 詳細設定 > ビデオ / オーディオ > オーディオ

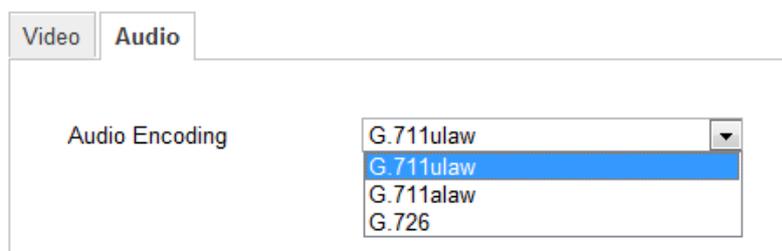


Figure 6-25 Audio Settings

4. 下記の項目を設定します。
Audio Encoding: G.711ulaw、G.711alaw、G.726
5.  をクリックして設定を保存します。

6.4.3 ROI の設定

始める前:

ROI (対象領域) エンコーディングは、予め指定された画像領域の品質を向上させるために使用される。

ストリームタイプ:

メイン、サブ、サードストリームの設定ができます。

- **固定領域:** 固定領域エンコーディングは、手動で設定されたエリアの ROI エンコーディングです。ROI エンコーディングの画質強化レベルも選択できます。また、ROI 領域の名前を付けることが可能です。

手順:

1. 設定画面移動します :
設定 > 詳細設定 > ビデオ / オーディオ > ROI

2. **Region No.** を選択します。
3. **Fixed Region** の下の **Enable** をチェックします。
4. **Draw Area** をクリックして、エリアを設定します。
5. 6 レベルの画質は選択できます。
6. **Region Name** を入力して **Save** をクリックして設定保存します。

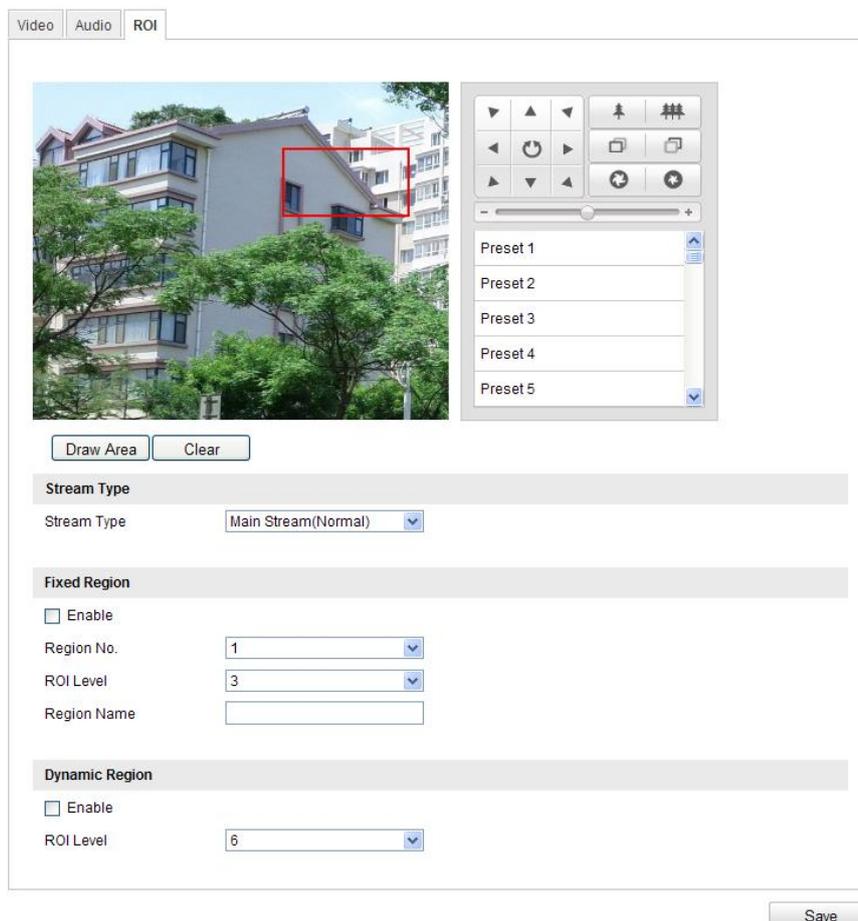


Figure 6-26 Region of Interest

● **動的領域**: 動的トラッキングは、顔検出などのインテリジェントな分析によって定義された ROI を指します。ROI エンコーディングの画質強化レベルを選択することができます。

手順:

1. **Dynamic Tracking** の下の **Enable** をチェックします。
2. 6 レベルの画質は選択できます。
3. **Save** をクリックして設定保存します。

6.5 イメージの設定

6.5.1 画質設定

手順:

1. 設定画面移動します：
設定 > 基本設定 > イメージ > 画質設定
または、設定 > 詳細設定 > イメージ > 画質設定
2. パラメータを設定します。

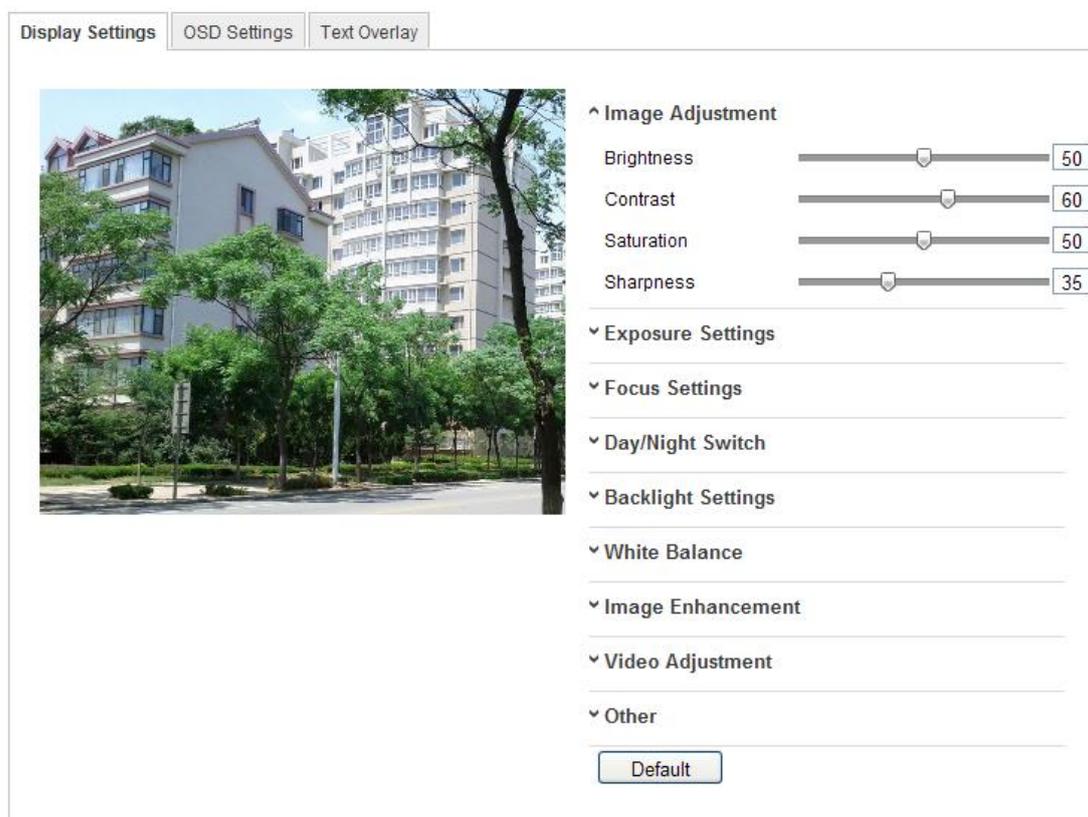


Figure 6-27 Display Settings

画像調整

- 明るさ
0 - 100 の設定ができます。
- コントラスト
0 - 100 の設定ができます。
- 彩度
0 - 100 の設定ができます。
- 鮮明度
0 - 100 の設定ができます。

露出設定

● 露出モード

露出モードは自動、アイリス優先、シャッター優先、ゲイン優先、マニュアルの設定ができます。

◆ 自動:

アイリス、シャッター、ゲインの値は全部自動に調整されます。

◆ アイリス優先:

アイリスの値は手動で設定する必要があります。他の値はアイリスの値とともに自動調整されます。

Exposure Mode	Iris Priority
Iris	F6.4

Figure 6-28 Manual Iris

◆ シャッター優先:

シャッターの値は手動で設定する必要があります。他の値はアイリスの値とともに自動調整されます。

Shutter	1/25
---------	------

Figure 6-29 Manual Shutter

◆ ゲイン優先:

ゲインの値は手動で設定する必要があります。他の値はアイリスの値とともに自動調整されます。

Gain	<input type="range" value="20"/>	20
------	----------------------------------	----

Figure 6-30 Manual Gain

◆ マニュアル:

アイリス、シャッター、ゲインの値は全部手動で調整します。

● リミットゲイン

0 - 100 の設定ができます。

● スローシャッター

Low, Normal と High の設定ができます。

Slow Shutter	<input checked="" type="checkbox"/>
Slow Shutter Level	Low

Figure 6-31 Slow Shutter

焦点の設定

● 焦点モード

焦点モードは自動、マニュアル、半自動の設定ができます。

◆ 自動:

焦点は任意の時に自動調整します。

◆ 半自動:

焦点はパン、チルト、ズームした後、一回のみ自動調整します。

◆ マニュアル:

マニュアルモードは、焦点の調整は  を使用する必要です。

● 最短焦点距離

1.5m, 3m, 6m, 10cm と 50cm の設定ができます。

ディ / ナイト

● ディ / ナイト

ディ / ナイト は自動、ディとナイトの設定ができます。

◆ 自動:

自動モードで、感度 (Low, Normal, High) の設定によって、ディとナイトが自動に調整します。

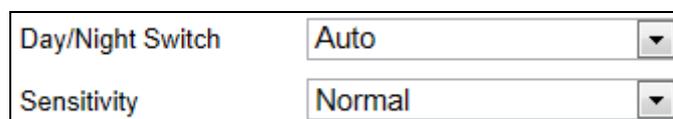


Figure 6-32 Auto Mode Sensitivity

◆ ディ:

ディモードはずっとカラーの映像が表示されます。

◆ ナイト:

ナイトモードはずっと白黒の映像が表示されます。

注意:

- IR ライトモードが有効する場合、強制的に自動に設定されます。
- IR ライトモードが無効する場合、かつ、IR ライトブライスは0に設定する場合、手動で設定することができます。
- IR ライトモードが手動にする、かつ、IR ライトブライスは0じゃないに設定する場合、手動で設定することができません、強制的にナイトモードに設定されます。

● スマート IR

IR ライトが点灯していると画像中心が露出オーバーの場合は、この機能を有効にすることができます。

● IR ライトモード

自動とマニュアルの設定ができます。

◆ Auto: 赤外線の色設定が自動に設定します。

◆ IR ライト感度は0 - 100 の設定ができます。

- ◆ **マニュアル**：赤外線の明るさ設定が手動で設定します。IR ライト明るさは 0 - 100 の設定ができます。

バックライトの設定

- **BLC (Back Light Compensation)**

強い光の前にある人物あるいは被写体をオートアイリス（自動絞り）機能がある CCD カメラで撮影すると、オートアイリスレンズは背景の明るさに対応し、明るいと認識して、自動的にレンズを絞って光量を抑えます。その結果、人物は真っ黒になって映らなくなります。こういった状態の時に、レンズを絞らないようにし、背景を犠牲にして人物が映るように制御する機能のことを指します。

- **WDR (Wide Dynamic Range)**

ワイドダイナミックレンジ機能は、そうした問題を解消。ひとつの映像の中で明暗差が大きな場所でも、モニター上に映し出される映像の明るい場所と暗い場所の両方を、はっきりそして自然な状態で見るすることができます。0 - 100 の設定ができます。

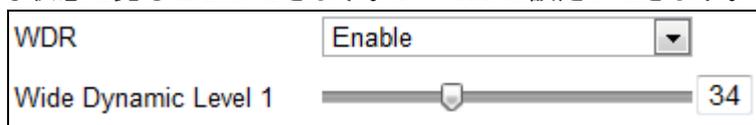


Figure 6-33 WDR

- **HLC (High Light Compensation)**

HLC 機能は、自動車のヘッドライトなどの強い光源をマスキング処理してハレーションを防ぎ、ナンバープレートを判別しやすく撮影するための機能です。

ホワイトバランス

ホワイトバランスは自動、手動ホワイトバランス、室外、室内、蛍光灯、ナトリウムランプとオートトラックの設定ができます。

- ◆ **自動**：

Auto モードの場合は、周辺的环境によって、自動調整します。

- ◆ **手動ホワイトバランス**：

MWB のモードの場合は、下記のように手動で設定します。

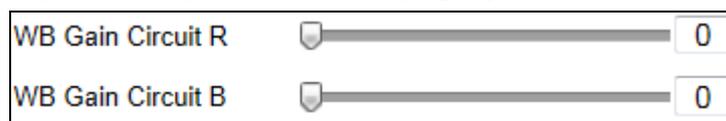


Figure 6-34 Manual White Balance

- ◆ **室外**

室外の環境の場合は、選択します。

- ◆ **室内**

室内の環境の場合は、選択します。

◆ 蛍光灯

蛍光灯の環境の場合は、選択します。

◆ ナトリウムランプ

ナトリウムランプの環境の場合は、選択します。

◆ オートトラック

オートトラックのモード, ホワイトバランスが連続的にシーン照明の色温度に応じてリアルタイムに調整されます。

イメージ強調

● 3D デジタルノイズリダクション

0 - 100 の設定ができます。



Figure 6-35 3D Digital Noise Reduction

● 霧画像補正モード

雨／霧／霞(かすみ)などの悪天候時の視認性を向上させています。

● 彩度抑制

0 - 100 の設定ができます。

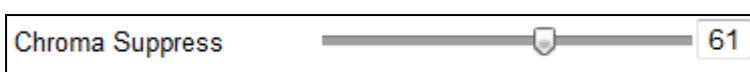


Figure 6-36 Chroma Suppress

ビデオ調整

● ミラー

ミラー機能で、左右、上下と中心の逆映像が表示されます。

● ビデオ標準

50hz (PAL) または、 60hz (NTSC) の設定ができます。

他

- レンズ初期化

Lens Initialization をチェックすると、レンズの動きと方向は出荷状態に戻ります。

- ズームリミット

20、40、80、160 と 320 の設定ができます。

- ローカルアウトプット

オンとオフの設定ができます。

6.5.2 OSD の設定

Zoom: ズーム倍率

Direction: 方向

Time: 表示時間

Preset title: プリセットを呼び出しする時に識別用

Camera name: スピードドームの名前

OSD 情報表示時間設定します。

手順:

1. 設定画面移動します :

設定 > 詳細設定 > イメージ > OSDの設定

Display Settings
OSD Settings
Text Overlay
Privacy Mask



Display Name

Display Date

Display Week

Camera Name

Time Format

Date Format

Display Mode

OSD Size

Figure 6-37 OSD Settings

2. 表示する必要な項目をチェックします。
3. **Camera Name** を入力します。
4. ドロップダウンリストからタイムフォーマットを選択します。
5. マウスのドラッグ操作で OSD 情報 **IPDome2** を適切な位置に移動します。



Figure 6-38 Adjust OSD Location

6. をクリックして設定を保存します。

6.5.3 テキストオーバープレイの設定

手順:

1. 設定画面移動します：
設定 > 詳細設定 > イメージ > テキストオーバープレイの設定
2. テキスト入力欄の前のチェックボックスを入力します。
3. テキストを入力します。
4. マウスのドラッグ操作で **Text** を適切な位置に移動します。
5. をクリックして設定を保存します。

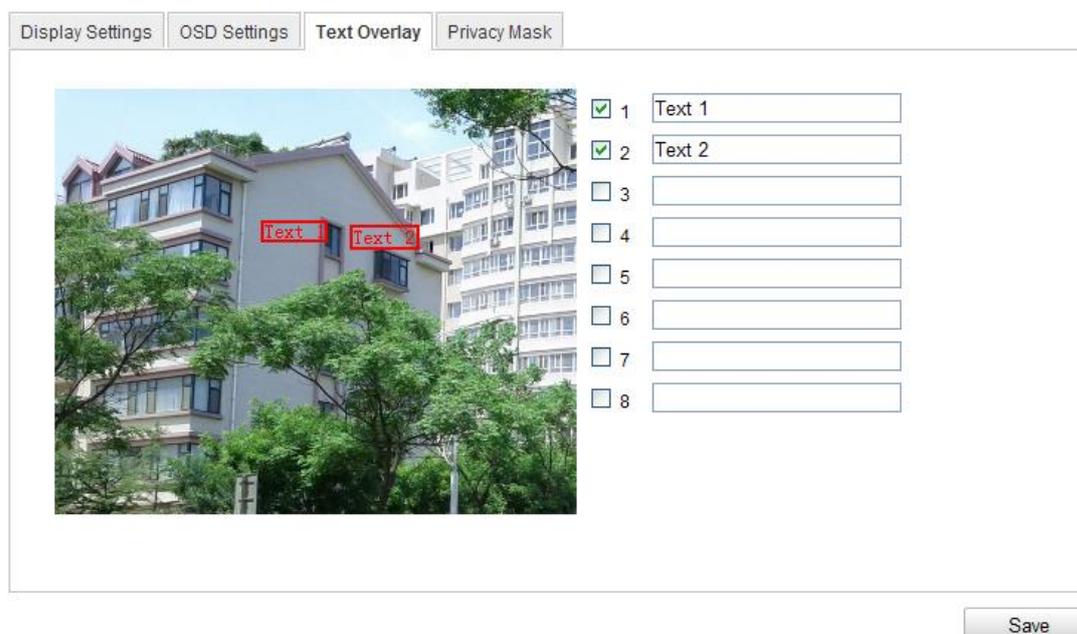


Figure 6-39 Text Overlay Settings

6.6 アラームの設定

6.6.1 動体検知の設定

手順:

1. 動体検知エリアを設定します。

手順:

- (1) 設定画面に移動します。

設定 > 詳細設定 > イベント > 動体検知

- (2) **Enable Motion Detection** をチェックします。

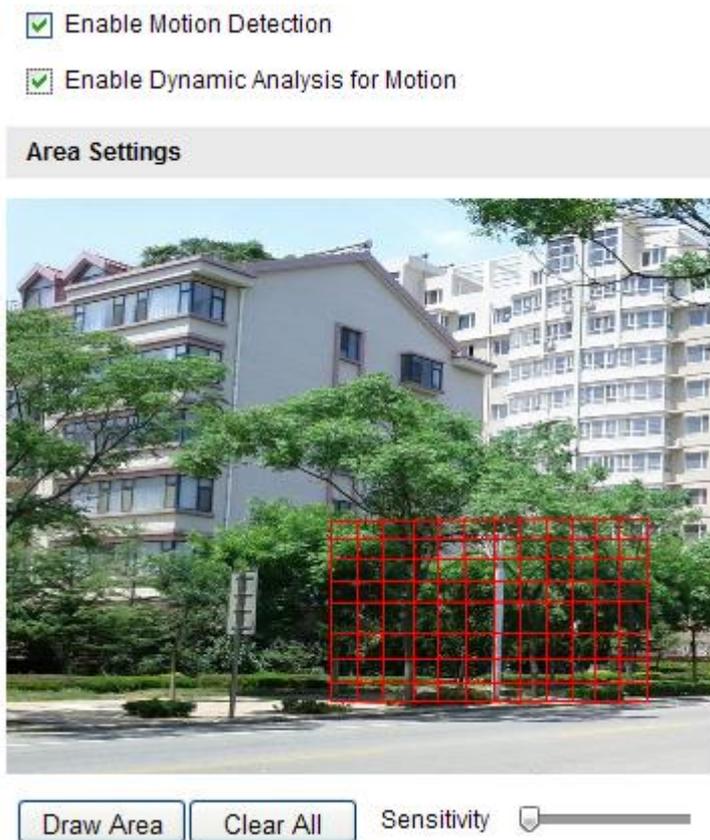


Figure 6-40 Enable Motion Detection

(3) **Draw Area** をクリックして、マウスのドラッグ操作でエリアを設定します。

注意: 最大 8 つのエリアをサポートします。

(4) **Stop Drawing** をクリックしてエリアの設定を完了します。

注意: **Clear All** をクリックすれば、すべての設定したエリアを削除します。

(5) **Sensitivity** で感度を調整します。

2. 動体検知のアラームスケジュールを設定します。

手順:

(1) Figure 6-42のようにスケジュールを設定します。 Figure 6-41の **Edit** をクリックします。

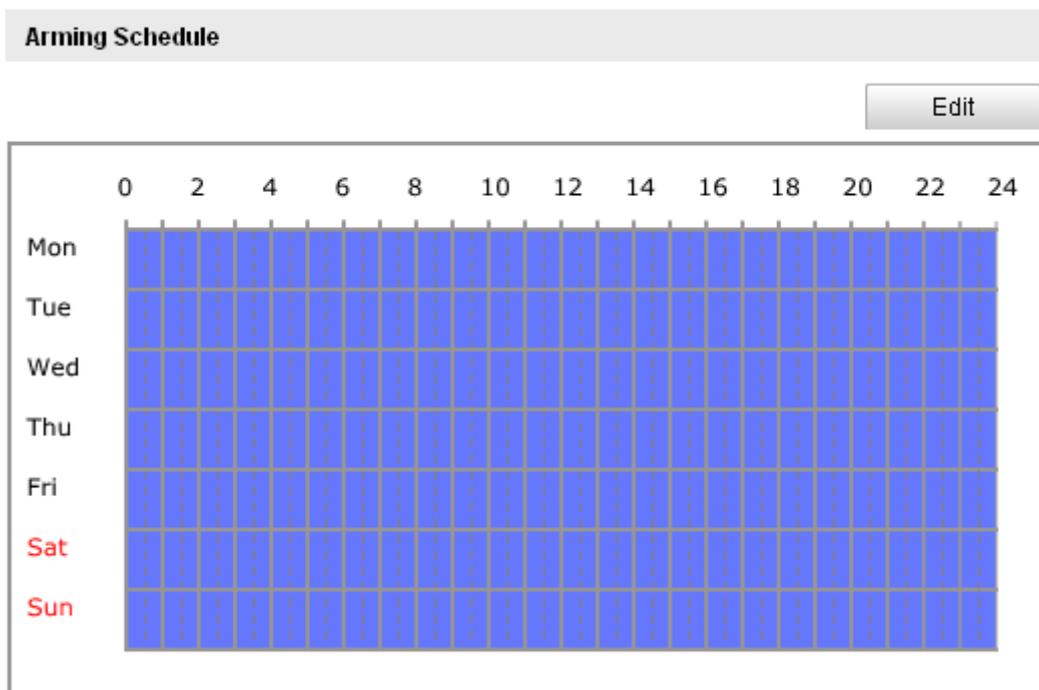


Figure 6-41 Arming Schedule

- (2) 設定したいアラームスケジュールの日付を選択します。
- (3)  をクリックしてスケジュールの時間帯を設定します。
- (4) 他の日に同時間帯を設定したいなら、 をクリックすればいい。
- (5)  をクリックして設定を保存します。

注意： 一日は最大4つの時間帯の設定ができます。

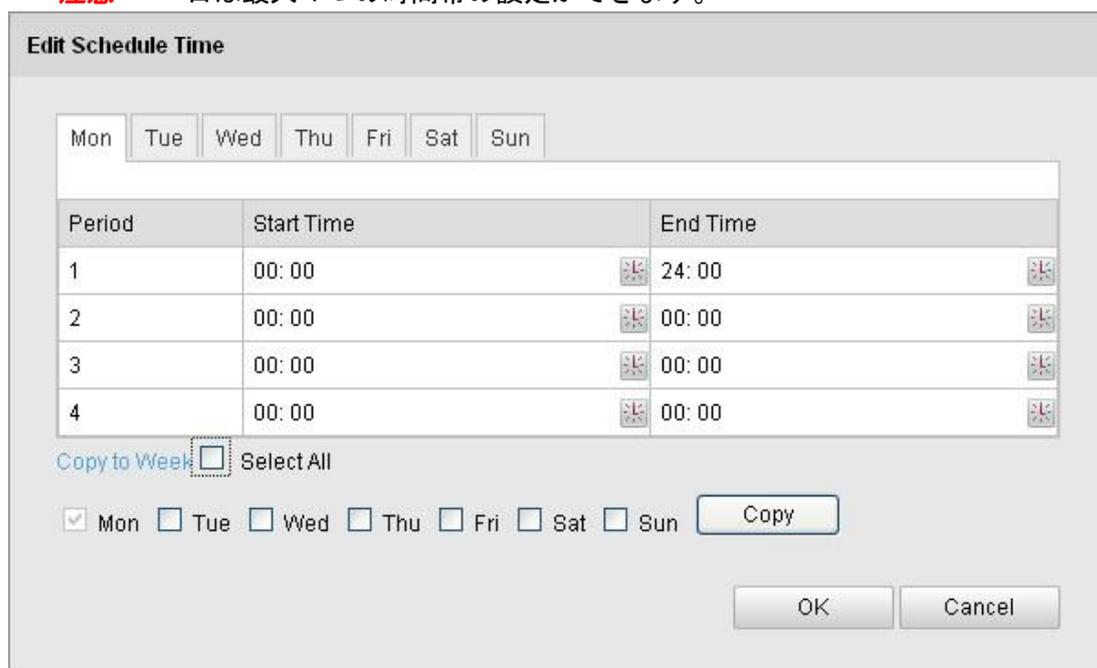


Figure 6-42 Arming Time Schedule

3. 動体検知に対応するアラームアクションを設定します。

Linkage Method	
Normal Linkage	Other Linkage
<input type="checkbox"/> Notify Surveillance Center <input type="checkbox"/> Send Email <input type="checkbox"/> Upload to FTP <input type="checkbox"/> Trigger Channel	Trigger Alarm Output <input type="checkbox"/> Select All <input type="checkbox"/> A->1 <input type="checkbox"/> A->2

Figure 6-43 Linkage Method

イベントが発生して、アラームをトリガした後、下記のアクションと連動できます。

- **防災センターに通知**

イベントが発生時、リモート管理ソフトウェアにアラーム送信します。

- **メール送信**

事前に設定したメールアドレスに送信します。

- **FTPにアップロード**

イベントが発生時、スナップショットをFTPサーバにアップロードします。

- **チャンネルトリガ**

イベントが発生時、録画します。

- **アラームアウトアップトリガ**

外付けの別のアラーム発報機器と連動します。

6.6.2 ビデオロスアラームの設定

手順:

1. 設定画面に移動します:

設定 > 詳細設定 > イベント > ビデオロス

Enable Video Loss Detection

Arming Schedule

	0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24
Mon													
Tue													
Wed													
Thu													
Fri													
Sat													
Sun													

Linkage Method

Normal Linkage	Other Linkage
<input type="checkbox"/> Notify Surveillance Center	Trigger Alarm Output <input type="checkbox"/> Select All
<input type="checkbox"/> Send Email	<input type="checkbox"/> A->1 <input type="checkbox"/> A->2

Figure 6-44 Video Loss

2. **Enable Video Loss Detection** をチェックします。
3. をクリックしてビデオロスに対応するアラームスケジュールを設定します。設定の手順は動体検知のアラームスケジュールと同様です。
4. 対応するアラームアクションを設定します。設定の手順は動体検知のアラームスケジュールと同様です。
5. をクリックして設定を保存します。

6.6.3 ビデオタンパリングアラームの設定

目的:

故意的にカメラの前に妨害行為をする時、この機能を使います。

手順:

1. 設定画面に移動します:

設定 > 詳細設定 > イベント > ビデオタンパリング

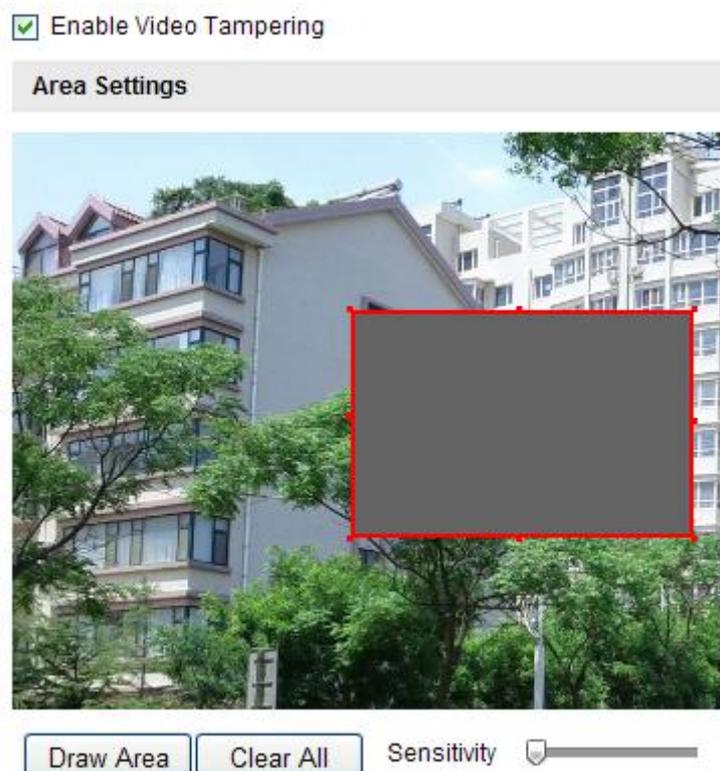


Figure 6-45 Tamper-proof Alarm

2. **Enable Video Tampering** をチェックします。
3. タンパリングエリアを設定します。設定の手順は動体検知のアラームスケジュールと同様です。
4. **Edit** をクリックして対応するアラームスケジュールを設定します。設定の手順は動体検知のアラームスケジュールと同様です。
5. 対応するアラームアクションを設定します。設定の手順は動体検知のアラームスケジュールと同様です。
6. **Save** をクリックして設定を保存します。

6.6.4 外部アラームインプットの設定

手順:

1. 設定画面に移動します:
設定 > 詳細設定 > イベント > ビデオタンパリング > アラームインプット:
2. アラームインプット番号とアラームタイプを選択します。
3. **Alarm Name** でアラーム名を入力します。

Alarm Input No.

Alarm Name

Alarm Type

Arming Schedule

	0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24
Mon													
Tue													
Wed													
Thu													
Fri													
Sat													
Sun													

Figure 6-46 Alarm Input Settings

- をクリックして対応するアラームスケジュールを設定します。設定の手順は動体検知のアラームスケジュールと同様です。
- 対応するアラームアクションを設定します。設定の手順は動体検知のアラームスケジュールと同様です。
- PTZ 連動リンクも選択できます。チェックボックスをチェックします。関連するチェックボックスをチェックして、呼び出ししたいプリセット番号とパトロール、パターンを選択します。
- 別のアラームインプットに設定をコピーも可能です。
- をクリックして設定を保存します。

Linkage Method	
Normal Linkage	Other Linkage
<input type="checkbox"/> Notify Surveillance Center <input type="checkbox"/> Send Email <input type="checkbox"/> Upload to FTP <input type="checkbox"/> Trigger Channel	Trigger Alarm Output <input type="checkbox"/> Select All <input type="checkbox"/> A->1 <input type="checkbox"/> A->2 PTZ Linking <input type="checkbox"/> Preset No. <input type="text" value="1"/> <input type="button" value="v"/> <input type="checkbox"/> Patrol No. <input type="text" value="1"/> <input type="button" value="v"/> <input type="checkbox"/> Pattern <input type="text" value="1"/> <input type="button" value="v"/>
Copy to Alarm	
<input type="checkbox"/> Select All <input checked="" type="checkbox"/> A<-1 <input type="checkbox"/> A<-2 <input type="checkbox"/> A<-3 <input type="checkbox"/> A<-4 <input type="checkbox"/> A<-5 <input type="checkbox"/> A<-6 <input type="checkbox"/> A<-7	

Figure 6-47 Linkage Method

6.6.5 アラームアウトプットの設定

手順:

- 設定画面に移動します:
設定 > 詳細設定 > イベント > アラームアウトプット:
- Alarm Output リストからアウトプットチャンネルを選択します。
- Alarm Name でアラーム名を入力します。
- アラーム起動後、アラームアウトプットが稼働するまでの時間 **5sec, 10sec, 30sec, 1min, 2min, 5min, 10min** または **マニュアル**を設定します。
- をクリックして対応するアラームスケジュールを設定します。設定の手順は動体検知のアラームスケジュールと同様です。
- 対応するアラームアクションを設定します。設定の手順は動体検知のアラームスケジュールと同様です。
- 別のアラームインプットに設定をコピーも可能です。
- をクリックして設定を保存します。

Alarm Output

Alarm Name

Delay

Arming Schedule

	0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24
Mon													
Tue													
Wed													
Thu													
Fri													
Sat													
Sun													

Copy to Alarm

Select All

A->1

Figure 6-48 Alarm Output Settings

6.6.6 例外処理

HDD 満了、HDD エラー、ネットワーク接続できない、IP アドレス衝突などをアラームの例外処理もできます。

手順:

1. 設定画面に移動します:
設定 > 詳細設定 > イベント > 例外
2. をクリックして対応するアラームスケジュールを設定します。設定の手順は動体検知のアラームスケジュールと同様です。

Exception Type	
HDD Full	
Normal Linkage	Other Linkage
<input type="checkbox"/> Notify Surveillance Center	Trigger Alarm Output <input type="checkbox"/> Select All
<input type="checkbox"/> Send Email	<input type="checkbox"/> A->1 <input type="checkbox"/> A->2

Figure 6-49 Exception Settings

2. をクリックして設定を保存します。

Chapter 7 録画設定

7.1 NAS の設定

手順:

1. ネットワークディスクの追加

(1) 設定画面に移動します:

設定 > 詳細設定 > ストレージ > NAS

HDD No.	Type	Server Address	File Path
1	NAS	10.99.105.249	/dvr/test
2	NAS		
3	NAS		
4	NAS		

Figure 7-1 Add Network Disk

(2) Enter the IP address of the network disk ネットワークディスクの IP アドレスを入力してください。ファイルのパスのデフォルトフォーマットは図のように書いてあります。

(3) をクリックして設定を保存します。

2. ネットワークディスクの初期化

(1) 設定画面に移動します:

設定 > 詳細設定 > ストレージ > ストレージ管理

(2) もしディスクの状態は Figure 7-2 のように **Uninitialized** を表示されましたら、

その対応するチェックボックスをチェックして、 をクリックして、フォーマットしてください。

HDD Device List							<input type="button" value="Format"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	HDD No.	Capacity	Free space	Status	Type	Property	Progress
<input checked="" type="checkbox"/>	9	0.96GB	0.00GB	Uninitialized	NAS	R/W	

Figure 7-2 Initialize Disk

HDD Device List							<input type="button" value="Format"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	HDD No.	Capacity	Free space	Status	Type	Property	Progress
<input checked="" type="checkbox"/>	9	39.06GB	0.00GB	Uninitialized	NAS	R/W	7%

Figure 7-3 Initializing

HDD Device List							Format
<input type="checkbox"/> HDD No.	Capacity	Free space	Status	Type	Property	Progress	
<input checked="" type="checkbox"/> g	39.06GB	38.75GB	Normal	NAS	R/W		

Figure 7-4 View Disk Status

7.2 録画スケジュールの設定

手順:

1. 設定画面に移動します:

設定 > 詳細設定 > ストレージ > 録画スケジュール

Pre-record ▼

Post-record ▼

Overwrite ▼

Enable Record Schedule

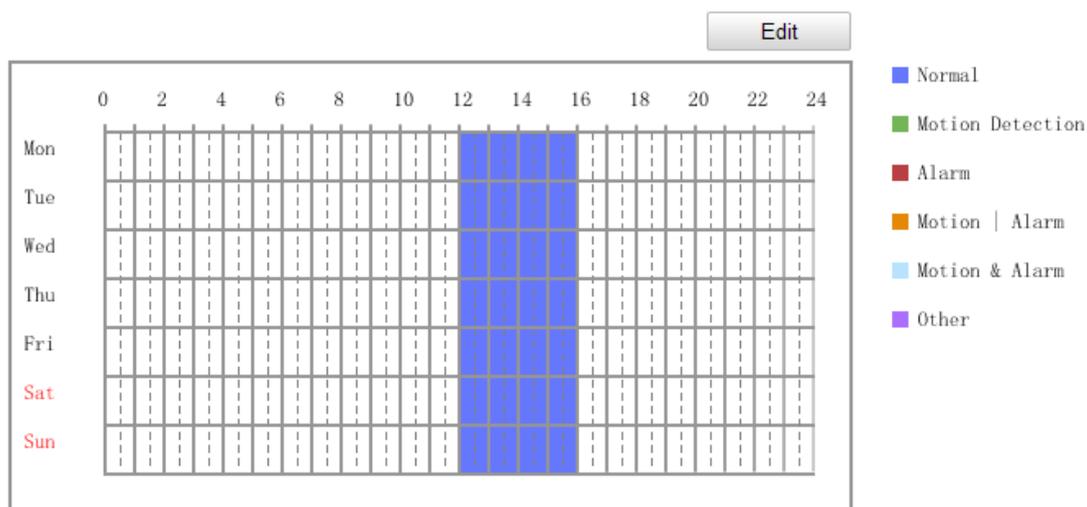


Figure 7-5 Recording Schedule Interface

2. **Enable Record Schedule** をチェックします。
3. 録画のパラメータを設定します。

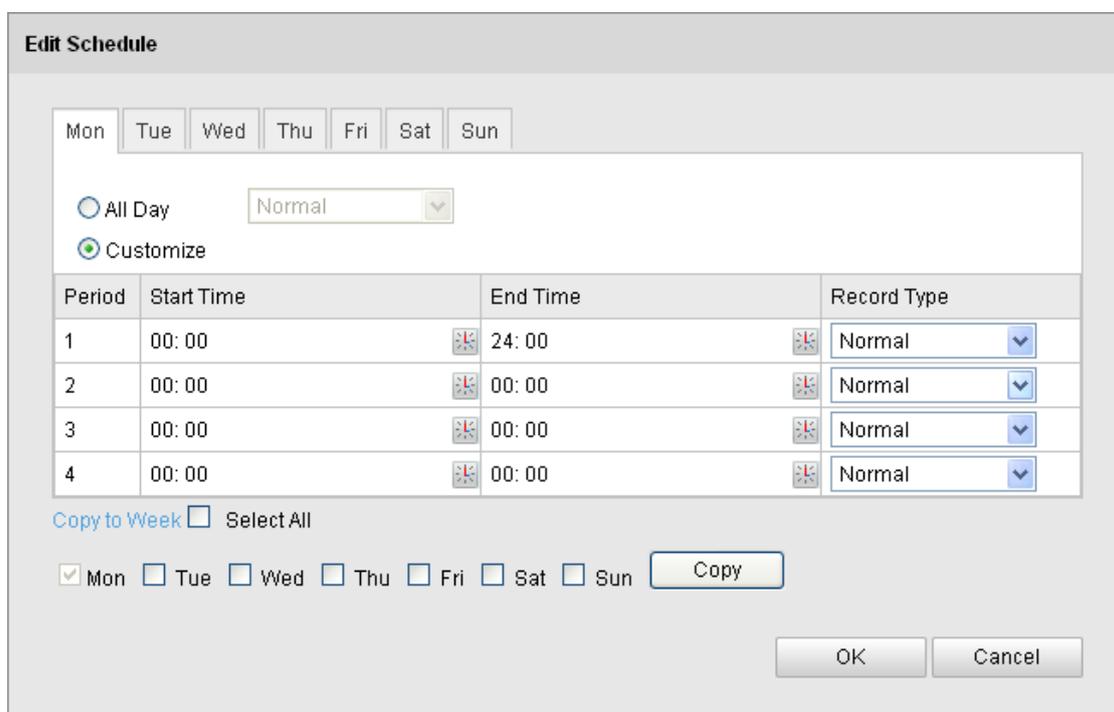
Pre-record ▼

Post-record ▼

Figure 7-6 Record Parameters

- **プリレコード:** スケジュールやイベントの前に記録を開始の時間を設定します。
- **ポストレコード:** スケジュールまたはイベントの後に録音を停止の時間を設定します。
- **Overwrite:** この機能を有効にして HDD がいっぱいになった場合は、新しい記録ファイルは、自動的に最も古いレコードのファイルを上書きします。

4.  をクリックして設定を保存します。



Edit Schedule

Mon Tue Wed Thu Fri Sat Sun

All Day

Customize

Period	Start Time	End Time	Record Type
1	00:00	24:00	Normal
2	00:00	00:00	Normal
3	00:00	00:00	Normal
4	00:00	00:00	Normal

Copy to Week Select All

Mon Tue Wed Thu Fri Sat Sun

Figure 7-7 Record Schedule

5. 録画スケジュールを設定します。
- (1) 終日または、セグメントの録画を設定します：
 - ◆ 終日を設定する場合、終日をチェックします。
 - ◆ If you want to record in different time sections 違う時間帯にて録画したい場合は、カスタマサイズをチェックします。そして、**Start Time** と **End Time** を設定します。
 - (2) **Record Type**録画タイプ：ノーマル、動体検知、アラーム、動体 | アラーム、動体&アラーム を選択します。
 - ◆ **ノーマル**
ビデオは、スケジュールの時間に応じて自動的に記録されます。
 - ◆ **動体検知**

動きが検出されたときに映像が記録されます。

- ◆ **アラーム**
アラームを外部アラームインプットを通じてトリガされたときにビデオが記録されます。
- ◆ **動体 & アラーム**
動きとアラームが同時にトリガされたときの映像が記録されます。
- ◆ **動体 | アラーム**
外部アラームがトリガされるか、動きが検出されたときに映像が記録されます。

Edit Schedule

Mon Tue Wed Thu Fri Sat Sun

All Day Normal

Customize

Period	Start Time	End Time	Record Type
1	00:00	24:00	Normal
2	00:00	00:00	Normal
3	06:00	00:00	Normal
4	00:00	00:00	Normal

Copy to Week Select All

Mon Tue Wed Thu Fri Sat Sun

Figure 7-8 Edit Record Schedule

(3) 一週間の他の日も同じの設定をする場合、 Select All、もしくは、対応する日付のチェックボックスをチェックして、 をクリックして、設定をコピーします。

(4) をクリックします。

6. をクリックして設定を保存します。

7.3 スナップショットの設定

基本設定

手順:

1. 設定画面に移動します:

設定 > 詳細設定 > ストレージ > スナップショット

2. **Enable Timing Snapshot** をチェックします。**Enable Event-triggered Snapshot** をチェックしてイベントトリガスナップショットを有効します。
3. スナップショットの画質を選択します。
4. 二つのスナップショットの間隔を設定します。
5.  をクリックして設定を保存します。

**FTP にアップロード****手順:**

- 1) FTP を設定して、 **Upload Picture** をチェックします。
- 2) **Enable Timing Snapshot** をチェックします。



- イベントトリガスナップショットをFTPにアップロードします。

手順:

- 1) FTP を設定して、 **Upload Picture** をチェックします。
- 2) 動体検知、アラームインプット設定画面の  **Upload to FTP** をチェックします。
- 3) **Enable Event-triggered Snapshot** をチェックしてイベントトリガスナップショットを有効します。

Timing		
<input checked="" type="checkbox"/> Enable Timing Snapshot		
Format	JPEG	
Resolution	1920*1080	
Quality	High	
Interval	0	millisecond

Event-Triggered		
<input checked="" type="checkbox"/> Enable Event-Triggered Snapshot		
Format	JPEG	
Resolution	1920*1080	
Quality	High	
Interval	0	millisecond
Capture Number	4	

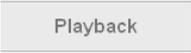
Figure 7-9 Snapshot Settings



Chapter 8 再生

Task 1: ビデオファイルの再生

手順:

1.  をクリックして再生画面に移動します。

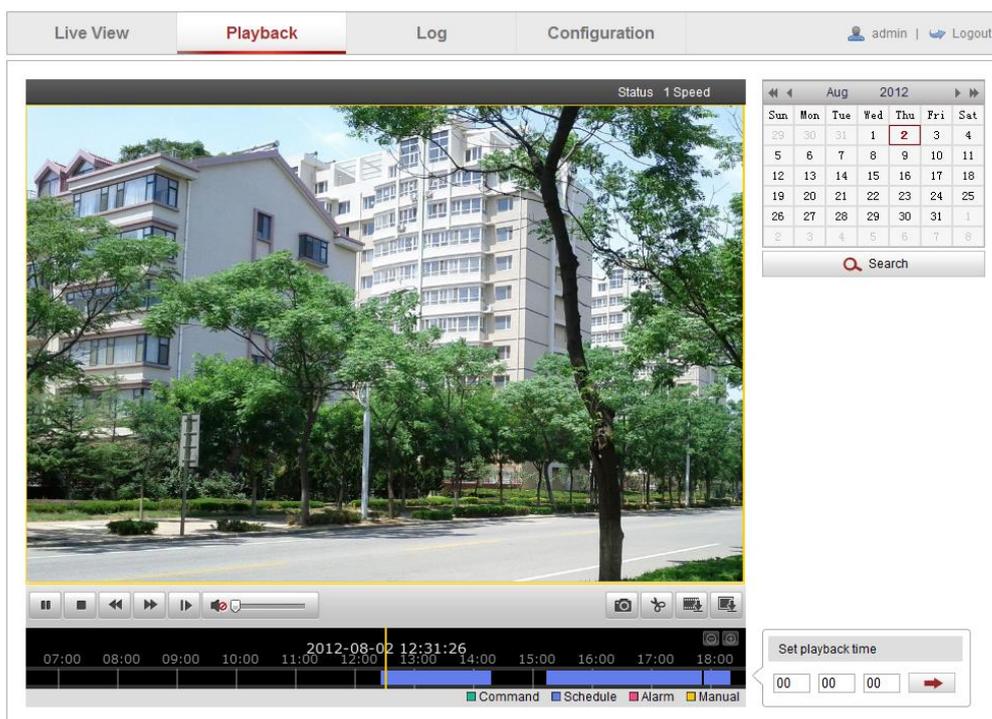


Figure 8-1 Playback Interface

2. 日付を選択して  をクリックします。

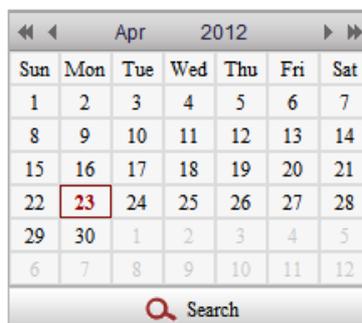


Figure 8-2 Search Video

3.  をクリックしてビデオファイルを再生します。

ツールバーのボタンは再生のコントロールができます。



Figure 8-3 Playback Toolbar

Table 8-1 Description of the buttons

Button	Operation	Button	Operation
	Play		Capture a picture
	Pause		Start/Stop clipping video files
	Stop		Audio on and adjust volume/Mute
	Speed down		Download video files
	Speed up		Download captured pictures
	Display playback status		Playback by frame

マウスのドラッグ操作で再生開始したいところに進むことができるほか、詳細時刻を入力してから をクリックして進めます。同時、 をクリックしてドラッグバーの拡大と縮小もできます。

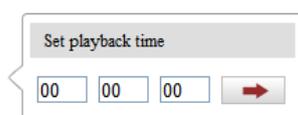


Figure 8-4 Set Playback Time



Figure 8-5 Progress Bar

違う色は違うビデオタイプを現れます。

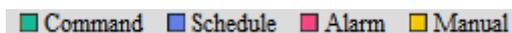


Figure 8-6 Video Types

Task 2: ビデオファイルのダウンロード

手順:

1. 再生画面の  をクリックします。
2. 開始時刻と停止時刻を設定します。**Search** をクリックします。探索結果は左側のリストに表示されます。



Total 23 Items [First Page](#) [Prev Page](#) 1/1 [Next Page](#) [Last Page](#)

Figure 8-7 Video Downloading interface

3. ダウンロードしたい をクリックします。
4. Click  をクリックしてダウンロード開始します。

注意:

- ダウンロードを停止したい場合、 をクリックします。

Task 3: スナップショットのダウンロード

手順:

1. 再生画面の  をクリックします。
2. スナップショットに対応する連動のタイプを設定します。
3. 開始時刻と停止時刻を設定します。**Search** をクリックします。探索結果は左側のリストに表示されます。
4. ダウンロードしたい をクリックします。
5.  をクリックしてダウンロード開始します。



Figure 8-8 Picture Downloading interface

Chapter 9 ログの検索

始める前:

ネットワークストレージの設定、または、ドームの本体に SD カードを入れているかを確認してください。

手順:

1. メニューバーの  をクリックしてログ検索画面に入ります。

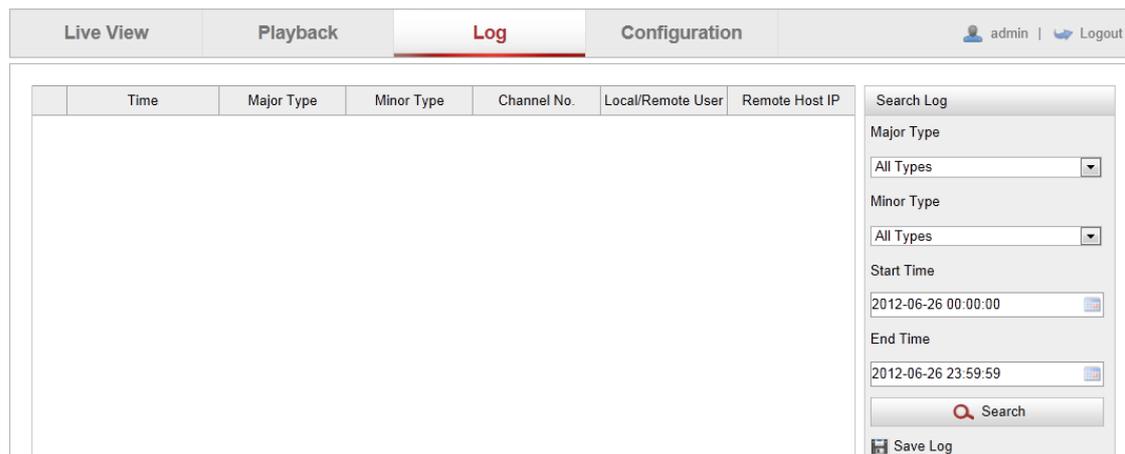
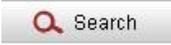


Figure 9-1 Log Searching Interface

2. 検索用の各パラメータを入力します。
3.  をクリックして、検索結果はログインターフェースのリストに表示されます。

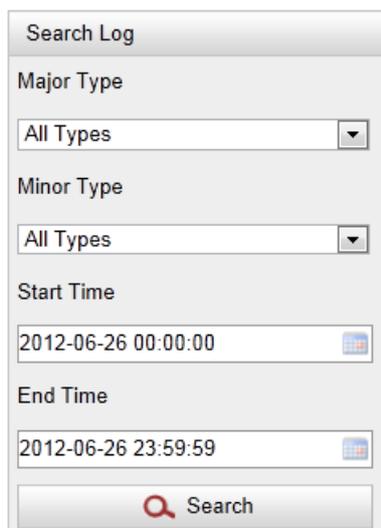
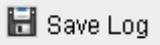


Figure 9-2 Log Searching

4. ログファイルのエクスポートには、 をクリックして、ログファイルを保存します。

Chapter 10 他

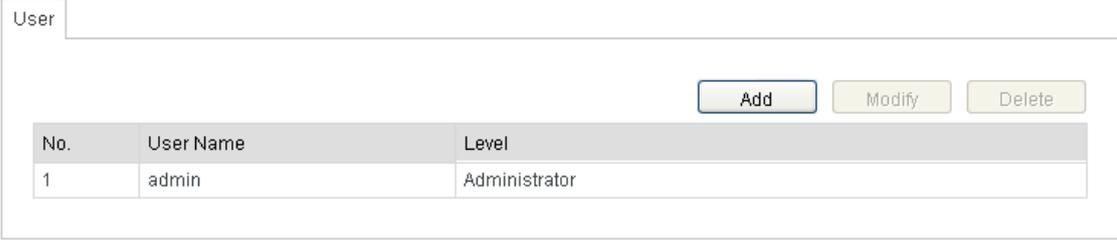
10.1 ユーザ管理

設定画面に移動します。

設定 > 基本設定 > セキュリティ > ユーザ

または、設定 > 詳細設定 > セキュリティ > ユーザ

admin ユーザは別のユーザの作成、削除権限をもっています。最大 32 ユーザの作成をサポートしています。

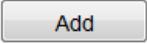


No.	User Name	Level
1	admin	Administrator

Figure 10-1 User Information

● ユーザ作成

手順:

1.  をクリックして、新しいユーザを作成します。
2. **User Name**, を入力して、**Level** を選択して、**Password** を入力します。
3. 基本権限のリストとカメラの設定に、この新しいユーザにその権限を与えることができます。
4.  をクリックして設定終了します。

Add user	
User Name	<input type="text"/>
Level	Operator <input type="button" value="v"/>
Password	<input type="text"/>
Confirm	<input type="text"/>
Basic Permission	Camera Configuration
<input type="checkbox"/> Remote: Parameters Settings	<input checked="" type="checkbox"/> Remote: Live View
<input checked="" type="checkbox"/> Remote: Log Search / Interrogate Working Status	<input checked="" type="checkbox"/> Remote: PTZ Control
<input type="checkbox"/> Remote: Upgrade / Format	<input checked="" type="checkbox"/> Remote: Manual Record
<input checked="" type="checkbox"/> Remote: Two-way Audio	<input checked="" type="checkbox"/> Remote: Playback
<input type="checkbox"/> Remote: Shutdown / Reboot	
<input type="checkbox"/> Remote: Notify Surveillance Center / Trigger Alarm Output	
<input type="checkbox"/> Remote: Video Output Control	
<input type="checkbox"/> Remote: Serial Port Control	
<input type="button" value="OK"/> <input type="button" value="Cancel"/>	

Figure 10-2 Add a User

● ユーザ編集

手順:

1. ユーザリストから編集したいユーザを左クリックして をクリックします。
2. **User Name**, **Level** または、**Password** を再設定します。
3. 基本権限のリストとカメラの設定に、この新しいユーザにその権限を与えることができます。
4. をクリックして設定終了します。

Modify user

User Name: tes2

Level: Operator

Password: ●●●●●●

Confirm: ●●●●●●

Basic Permission	Camera Configuration
<input type="checkbox"/> Remote: Parameters Settings	<input checked="" type="checkbox"/> Remote: Live View
<input checked="" type="checkbox"/> Remote: Log Search / Interrogate Working Status	<input checked="" type="checkbox"/> Remote: PTZ Control
<input type="checkbox"/> Remote: Upgrade / Format	<input checked="" type="checkbox"/> Remote: Manual Record
<input checked="" type="checkbox"/> Remote: Two-way Audio	<input checked="" type="checkbox"/> Remote: Playback
<input type="checkbox"/> Remote: Shutdown / Reboot	
<input type="checkbox"/> Remote: Notify Surveillance Center / Trigger Alarm Output	
<input type="checkbox"/> Remote: Video Output Control	
<input type="checkbox"/> Remote: Serial Port Control	

OK Cancel

Figure 10-3 Modify a User

- ユーザ削除

手順:

1. ユーザリストから削除したいユーザを左クリックして **Delete** をクリックします。
2. **OK** をクリックしてユーザ削除します。

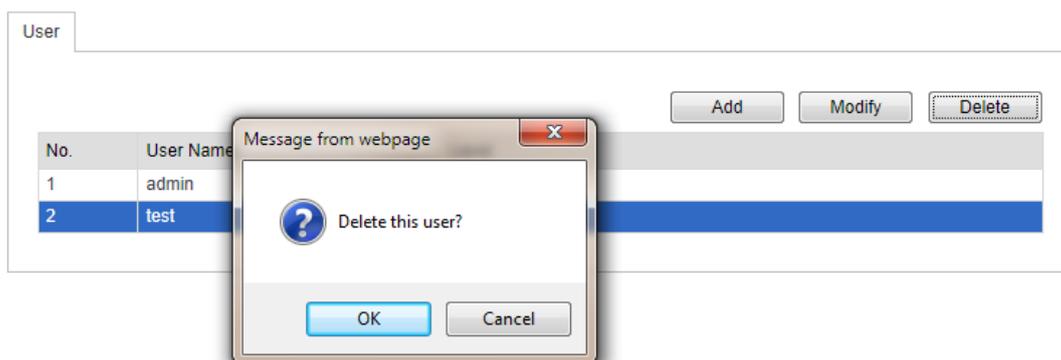


Figure 10-4 Delete a User

10.2 RTSP 認証の設定

目的:

ライブのストリームの暗号化レベルの設定ができます。

手順:

1. 設定画面に移動します:
設定 > 詳細設定 > セキュリティ > RTSP 認証



The screenshot shows a web interface for RTSP Authentication. At the top, there are tabs for 'User' and 'RTSP Authentication'. Below the tabs, there is a label 'Authentication' followed by a dropdown menu currently showing 'basic'. At the bottom right of the main content area, there is a 'Save' button.

Figure 10-5 RTSP Authentication

2. 認証タイプ basic または、無効を選択します。
3.  をクリックして設定を保存します。

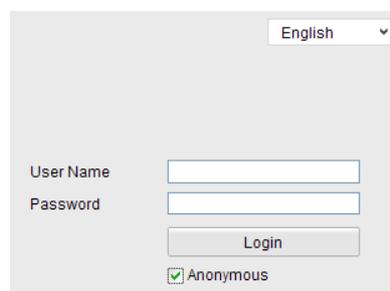
10.3 匿名アクセスの設定

この機能が有効になると、ユーザ名とパスワードなしでカメラのログインができます。ログインの画面で **Anonymous** をチェックして、そして、ログインします。



The screenshot shows a web interface for Anonymous Visit configuration. At the top, there are tabs for 'User', 'RTSP Authentication', 'Anonymous Visit', and 'IP Address Filter'. Below the tabs, there is a label 'Anonymous Visit' followed by a dropdown menu currently showing 'Disable'. At the bottom right of the main content area, there is a 'Save' button.

Figure 10-6 Anonymous Login



The screenshot shows a login interface. At the top right, there is a language dropdown menu set to 'English'. Below it, there are two input fields: 'User Name' and 'Password'. Below the password field is a 'Login' button. At the bottom, there is a checkbox labeled 'Anonymous' which is checked.

Figure 10-7 Login Interface

10.4 IP アドレスフィルターの設定

この機能が有効になると、デバイスをログイン可能と禁じされた IP アドレスの設定ができます。

フィルタータイプ	説明
禁止	ログイン禁じされた IP アドレス
許可	ログイン許可された IP アドレス

User RTSP Authentication Anonymous Visit IP Address Filter

Enable IP Address Filter

IP Address Filter Type Forbidden

IP Address Filter

Add Modify Delete Clear

No.	IP
1	172.6.21.119

Figure 10-8 IP Address Filter

10.5 デバイス情報表示

設定画面に移動します:

設定 > 基本設定 > システム > デバイス情報

または、設定 > 詳細設定 > システム > デバイス情報

この画面で、デバイスに関するすべての情報が表示されます。

Device Information
Time Settings
Maintenance

Basic Information

Device Name

Model	XX-XXXXXXX-X
Serial No.	XX-XXXXXXX-XXXXXXX
Firmware Version	V4.2.1 121022
Encoding Version	V2.0 build 121022
Number of Channels	1
Number of HDDs	0
Number of Alarm Input	1
Number of Alarm Output	1

Figure 10-9 Device Information

10.6 メンテナンス

10.6.1 再起動

手順:

1. 設定画面に移動します:
設定 > 基本設定 > システム > メンテナンス
 または、 **設定 > 詳細設定 > システム > メンテナンス:**
2. をクリックして再起動します。



Figure 10-10 Reboot the Device

10.6.2 初期化

手順:

1. 設定画面に移動します:
設定 > 基本設定 > システム > メンテナンス
 または、 **設定 > 詳細設定 > システム > メンテナンス:**

2. または、 をクリックします。

注意: をクリックすると、カメラの IP アドレスを含めてすべての設定が工場出荷に戻ります。

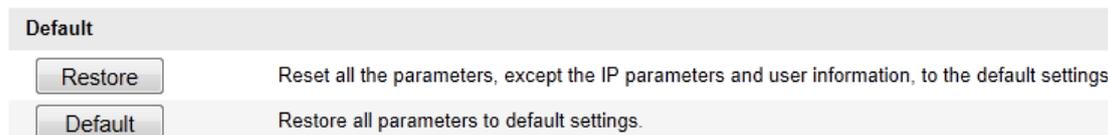


Figure 10-11 Restore Default Settings

10.6.3 設定ファイルのインポートとエクスポート

手順:

- 設定画面に移動します:
設定 > 基本設定 > システム > メンテナンス
 または、**設定 > 詳細設定 > システム > メンテナンス:**
- をクリックして設定ファイルを選択します。そして、 をクリックして設定のインポートを開始します。
注意: インポートした後、カメラの再起動が必要です。
- をクリックして、指定するパスに設定ファイルのエクスポートができます。

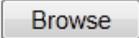
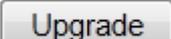


Figure 10-12 Import/Export Configuration File

10.6.4 システムのアップデート

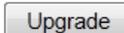
手順:

- 設定画面に移動します:
設定 > 基本設定 > システム > メンテナンス
 または、**設定 > 詳細設定 > システム > メンテナンス:**

2.  をクリックして、新しいファームウェアを選択します。そして、
 をクリックして、アップデートします。

Remote Upgrade

Firmware



Status

Note : The upgrading process will be 1 to 10 minutes, please don't disconnect power to the device during the process. The device reboots automatically after upgrading.

Figure 10-13 Remote Upgrade

10.7 RS-485 の設定

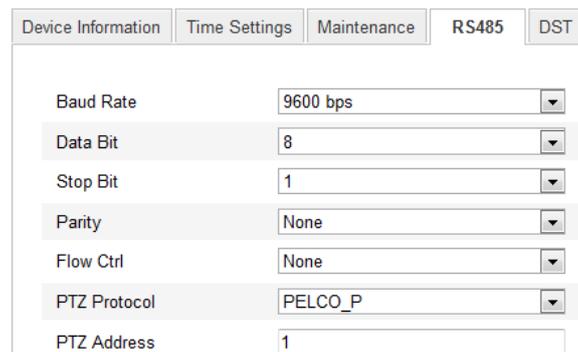
目的:

PTZ カメラのシリアルポートの設定ができます。

手順:

1. 設定画面に移動します。

設定 > 詳細設定 > システム > RS485



Device Information	Time Settings	Maintenance	RS485	DST
Baud Rate	9600 bps			
Data Bit	8			
Stop Bit	1			
Parity	None			
Flow Ctrl	None			
PTZ Protocol	PELCO_P			
PTZ Address	1			

Figure 10-14 RS-485 Settings

2. RS-485 のパラメータを設定して、 をクリックして設定を保存します。

デフォルトは、Baud Rate : 9600 bps、Data Bit : 8、stop bit : 1、Parity と Flow Control : None.

Appendix

Appendix 1 SADP

● SADP の説明

SADP (Search Active Devices Protocol) は GRASPHERE デバイスの IP を探索ツールです。

● オンライン探索

◆ 自動探索

SADP を起動した後、同一の LAN に接続したオンラインの GRASPHERE デバイスの IP、ポート、シリアル番号は自動的に表示されます。

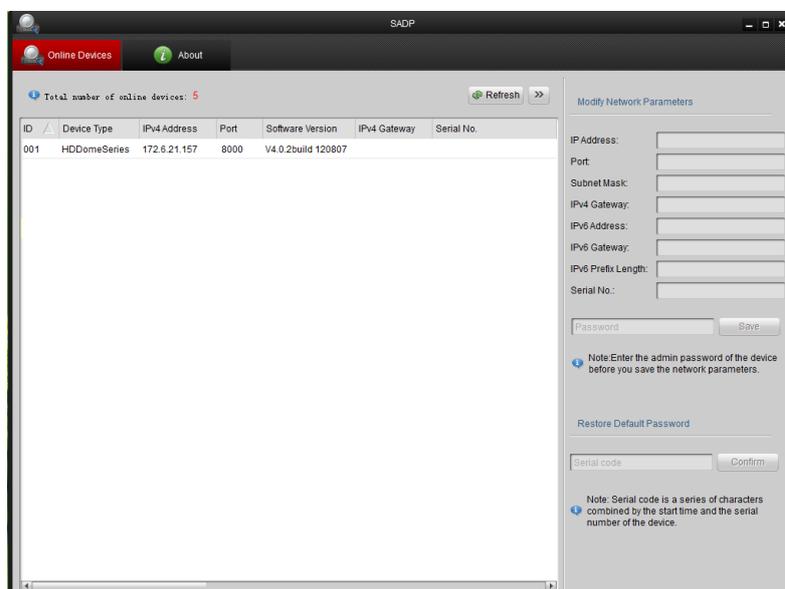
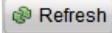


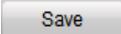
Figure A.1.1 Searching Online Devices

◆ 手動更新

 をクリックして、デバイスのリストを更新します。the list.

● ネットワークパラメータの編集

手順:

1. ネットワークパラメータを編集したいデバイスを選択して、そのデバイスのネットワーク情報は右側に表示することになります。
2. ネットワークパラメータを編集します。例えば、IP アドレスとポート番号。
3. パスワードを入力して、 をクリックします。

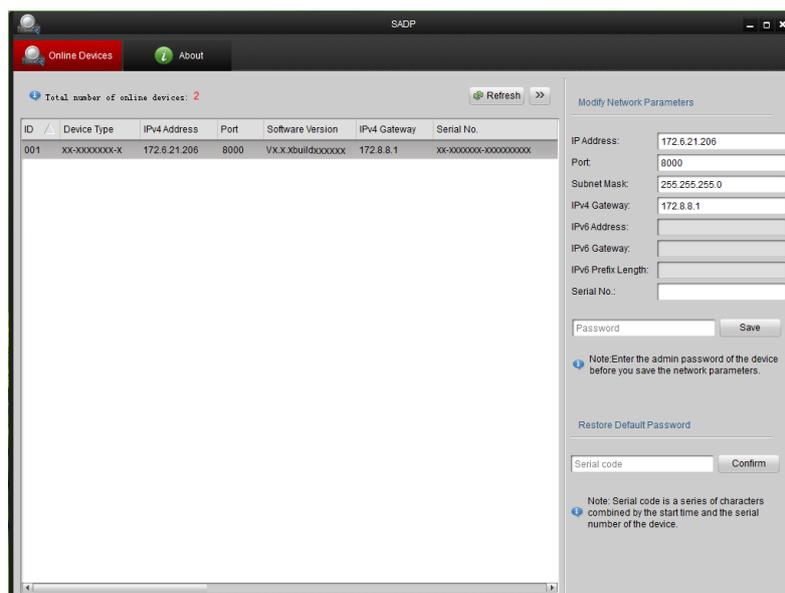


Figure A. 1. 2 Modify Network Parameters

● パスワードの初期化

手順:

1. サポートエンジニアに連絡して、**Serial code** を取得してください。
2. **Serial code** を入力して、**Confirm** をクリックすれば、初期化します。

Appendix 2 ポート解放

下記のルータポート解放設定は、TP-LINK の TL-R410 を例としてその手順を説明します。

手順:

1. WAN Connection Type:

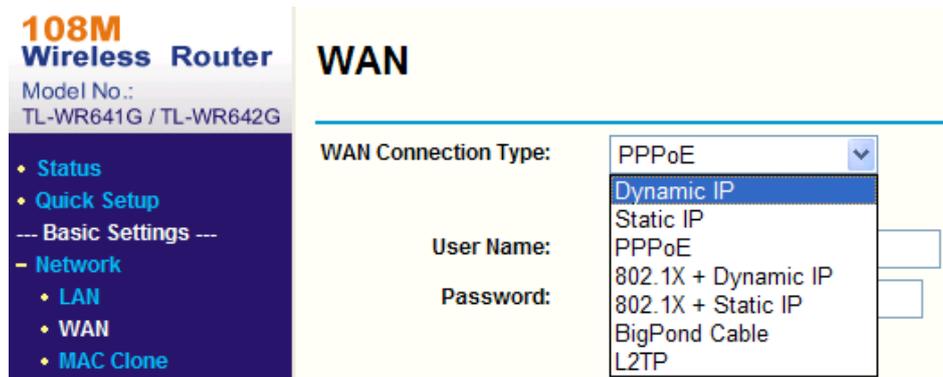


Figure A.2.1 Select the WAN Connection Type

2. LAN のパラメータを設定します。



Figure A.2.2 Set the LAN parameters

3. そして、下記の図のようにポート解放の画面にて下記のポートをフォワーディングします。ポート: 80、8000、8200-8210 と 554 。

手順:

1. Enable **ALL** or **TCP** protocols.
2. 設定が完了した後、 をクリックします。

108M Wireless Router
Model No.: TL-WR641G / TL-WR642G

- Status
- Quick Setup
- Basic Settings ---
- + Network
- + Wireless
- Advanced Settings ---
- + DHCP
- Forwarding
 - Virtual Servers
 - Port Triggering
 - DMZ
 - UPnP
- + Security
 - Static Routing
 - Dynamic DNS
- Maintenance ---
- + System Tools

Virtual Servers

ID	Service Port	IP Address	Protocol	Enable
1	80	192.168.10.23	ALL	<input checked="" type="checkbox"/>
2	8000	192.168.10.23	ALL	<input checked="" type="checkbox"/>
3	554	192.168.10.23	ALL	<input checked="" type="checkbox"/>
4	8200	192.168.10.23	ALL	<input checked="" type="checkbox"/>
5	81	192.168.10.24	ALL	<input checked="" type="checkbox"/>
6	8001	192.168.10.24	ALL	<input checked="" type="checkbox"/>
7	555	192.168.10.24	ALL	<input checked="" type="checkbox"/>
8	8201	192.168.10.24	ALL	<input checked="" type="checkbox"/>

Common Service Port: DNS(53) Copy to ID 1

Previous Next Clear All Save

Figure A. 2. 3 Port Mapping